

2023 年度(令和 5 年度)
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島
事業報告書

2024 年 3 月 31 日

高島市今津町中沼一丁目4-1
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

目次

事業の成果と課題

I.法人運営

II.たかしま市民協働交流事業

1.情報発信集積事業

- (1)情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2)市民活動団体情報の集積
- (3)WEB 情報発信

2.相談支援事業

- (1)相談件数
- (2)表彰の推薦など
- (3)コピー・大判プリント等対応記録

3.協働提案事業

- (1)協働実施支援
- (2)応募説明会
- (3)応募相談
- (4)審査会
- (5)採択団体と担当課協議
- (6)成果報告会

4.市民活動団体・人材の育成

- (1)市民活動に関する講座の開催
- (2)市民活動に興味がある人をつなぐ場づくり
- (3)第4期まちづくり推進会議の提案内容の実現に向けた支援

5.地域自治協議会支援事業

- (1)自治協支援に関する打合せ・巡回ヒアリング
- (2)自治協議会交流会の実施
- (3)事務局支援
- (4)市民向け講演会ーまちづくり講演会
- (5)自治協議会連絡会議運営サポート
- (6)全体研修会
- (7)その他

6.市民協働交流事業

- (1)たかしま市民活動フェスタ 2023
- (2)フェスタ交流会事業
- (3)活動ネットワーク会議ー居場所に関わっている方のための交流会

7. 研修等参加記録

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録
- (3) 講師依頼等対応記録

Ⅲ. 生活支援コーディネーター

- (1) 生活支援コーディネーター定例会・生活支援体制整備協議体会議
- (2) 研修参加
- (3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行
- (4) シニアのためのスマホ講座・相談会
- (5) 団体訪問
- (6) 相談対応

Ⅳ. 関係人口創出・拡大推進事業

- (1) 高島縁人コーディネート会議
- (2) 団体サポーター(高島縁人受入れ団体、地域)の発掘
- (3) 団体サポーター情報発信
- (4) 市民ライター講座

V. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

1. 炭焼き交流会
2. 綾羽工業の河辺林について
3. 情報発信
4. 運営会議記録

Ⅵ. コミュニティ事業

1. 郷土料理教室
2. みんなのほんだな
3. 映画「夢みる小学校」高島市上映会

Ⅶ. コディネート事業

1. 龍谷大学 1 回生社会学入門演習 研修プログラム
2. 滋賀県「協働で進める子ども・若者まんなか活動助成事業」支援

2023 年度 事業の成果と課題

今年度は、コロナ禍が終了し通常どおりの事業を実施することができた。会議や講座などは会場とオンラインのハイブリッドで開催することが通常となり、多様な形態での参加が可能になり、参加者の利便性を高めることができた。

法人運営では、理事会の開催は 3 回のみであったが、新しい事務局スタッフと理事が交流できる機会として懇親会や新年会を持つことができた。

会員を増やすための取り組みについて、理事会でも話題にはなるが具体的な活動にはつながらず会員は昨年と同数のままだった。

<たかしま市民協働交流事業>

情報発信では、団体や事業者への取材をとおして関係性を作り、市民活動フェスタへの参加や協力などにつなげている。今年度は夏号において 6 地域の住民自治協議会を紹介する特集を組むことができた。

「伝言板」は 49 件の情報を掲載することができた。全戸配布の発信に効果を感じた団体が何度も掲載希望されるようになっている。掲載団体が偏らず、多様な団体の情報を掲載できるよう、幅広く情報提供を呼びかけていきたい。

インターネットを使った情報発信は総計 432 件発信することができた。助成金情報を 246 件、市内外の市民活動情報もきめ細かく発信することができ、当センターのブログや F B で情報を得ているという声も聞かれた。一方、現在利用しているツール(ブログ、FB)では若い世代への波及が弱いと感じており、今後工夫していきたい。

相談事業は、昨年より 10 件以上増加し 117 件となった。内容は例年同様、団体や人のコーディネートに関する相談が最も多かった。特に今年度は移住者からの相談が多く、団体へのつなぎやコミュニティビジネスへの支援について対応した。助成金に関する相談も多く、毎年助成金を探している団体の継続的な相談に対応し、助成金の獲得につながった。助成金以外の寄付金集めについても支援することができ、例年開催しているファンドレイジング講座の効果が感じられた。自治協議会からの実務や運営に関する相談も増加した。また市外の自治組織や行政から、市内の自治協議会に関する視察に関する相談にも対応した。

協働提案事業では継続 2 件と新規 1 件に対応した。継続の 1 件は担当課、団体、交流センターで定期的な会議を持ち、情報共有しながら進めることができた。事業の目標である再生エネルギーの普及活動は、効果が見えるには時間がかかる事業だが、協働により関係組織の関係性が深まった。継続 1 件と新規の 1 件については、担当課と団体の中間点検での関わり、広報に関する支援の関わりにとどまった。次年度は担当課と団体の協働が高められる支援をしたい。

市民活動団体・人材の育成では、市民活動のためのスキル講座として、ホワイトボード・ミーティング講座を企画した。自治協議会から「どうすれば活発な会議ができるか…」との相談があり実施した。参加者6名であったが演習中心で、学びを地域や仕事に活かしたいとの感想をいただいた。助成金講座は、滋賀県内の助成団体4者を招き、申請希望者が助成団体と意見交換できる機会となった。参加者は4名でじっくり助成団体と話をする時間となった。

第4期まちづくり推進会議で提案されたコミュニケーションの場づくりでは、同じような場づくりを進める他の組織等と連携して継続的な場づくりをめざした。2か所は継続的な開催をされている。1か所は次年度から継続的な開催をめざしている。今後も多様な場が増えるよう連携を広げたい。

住民自治協議会は活動開始2年目となり、自治協議会の活動について市民に周知する機会を増やしてきた。まちづくり講演会、全体研修会は公開で開催し、関心のある市民と自治協議会のメンバーがグループワークで意見交換できた。今後の住民自治協議会事業には、地域ニーズの把握や地域課題への対応を重視される視点が必要であり、全体研修として地域課題や多様な地域人材に気づく「超高齢社会体験ゲーム」を実施した。

事務局の実務面での課題については、事務局交流会や事務局のニーズに対応した勉強会を実施できた。特に交付金の扱いについては、市民協働課が説明する機会を作り、全体で共通の理解がされるよう支援した。

協働交流事業は、39団体が参加して市民活動フェスタを開催することができた。16名の実行委員会は年齢幅が広く、さまざまなアイデアが出され、実行委員会のアイデアを企画に活かし、団体同士、来場者と団体との交流ができた。開催前の参加団体同士のつながりづくりである2回の「つながりカフェ」は総計52名が参加、事前相談会も30名が参加し盛況だった。今回は来場者アンケートを取る仕組みを入れてなかったため、来場者の声が集めることができなかつたので、次年度の実行委員会では来場者アンケートを集める必要性を伝えたい。

活動ネットワーク会議は、居場所をテーマにした交流会として開催した。個人、カフェの運営者、移住者など多様な参加者が少人数でゆっくり話せる場となり、相互理解になっていた。

<生活支援コーディネーター(第1層/市域)>

市社会福祉協議会の生活支援コーディネーター(第2層/中学校区地域)との共通目標「高齢者の社会参加を増やす」に向けて、第1層は高齢者の移動に関する課題に注目した。移動困難予備軍となる世代の約30名に移動手段の現状と今後の課題についてヒアリングを行うことができた。協議体会議では、ヒアリング結果を共有し、自家用車以外での移動手段や可能性について考える機会とした。高齢者の移動問題に関心を持つ市民と「高齢者の移動手段を考える勉強会」も開催したところ45名が参加し関心の高さがうかがえた。高齢者の移動問題については、次年度も継続的に市民と行政とともに考える機会を持ちたい。

シニアのためのスマホ講座・相談会は、区・自治会での実施希望が広がってきている。この機会を市内の高校や大学生にも関わりを促し、世代間交流につなげたいと働きかけることができた。

<関係人口創出・拡大推進事業>

今年度は「関係人口」「高島縁人（たかしまえんじん）」を知っている団体や人を増やすことを目標に、団体サポーターを13団体から33団体に増やすことができた。市内外からの参加者を集めたいという各団体のイベント等については、事前に情報を得て発信することができた。またイベントや活動の報告を取材し、SNSを使い発信することができた。取材者を増やす目的で市民ライター講座を企画した。高島縁人を理解いただくことはできたが、高齢の方が多く、取材への対応は実現しなかった。

<たかしまの森へ行こう！プロジェクト>

炭焼き交流会は、2010年から続けてきた活動を終了する国境炭焼きオヤジの会に学ぶ機会とした。市内外から関心ある方11名が参加された。綾羽工業の河辺林については、今後の整備方法などを東近江市の河辺いきものの森に学ぶ機会を持った。まずは現状把握のための植物、生き物の調査から始めるという方向を得ることができた。

当プロジェクトは高島市の森林に関心を持つ団体、行政、市民の情報交換と学びを目的に続けてきたが、今年度は運営メンバー会議が1回のみであった。今後は、森林に関わる新たな団体にも声をかけ、情報共有の機会を増やしたい。

<コミュニティ事業>

鮎ずし好きな仲間づくりとして継続している「鮎ずし漬け体験」は19名が参加し、「味見会」18名が参加。初めて出会う参加者も、鮎ずしをとおして知り合いとなっていた。映画「夢みる小学校」高島市上映会は、2か所4回の上映で大人155名、子ども(高校生以下)35名が参加した。会場の参加者の感想メッセージボードには約130枚のメッセージが寄せられ、共感や学校への想いが綴られていた。

上映会終了後も実行委員会のメンバーや関心のある方々が集まり、子どもの主体的な学びや不登校の子たちの選択肢についてなど、情報交換の場として継続しており、事務局として支援を行う。

<コーディネート事業>

今年度は、龍谷大学と滋賀県の助成団体支援という2件のコーディネート依頼を受けることができた。このような機会をとおして、市民団体との関係性を深める機会になり、また新たな団体との出会いになった。

I. 法人運営

<目標>

理事会や総会において、出席者がアイデアや事業全体について十分に意見を出し合える時間や機会を持ち、事業に活かす。

まちづくり講演会では、住民自治協議会のニーズに合った講演内容で、参加する市民にとっても地域自治組織への理解が進む内容で開催する。

<成果>

理事会および総会において、ざくばらんに意見交換できる時間を持つことができた。その意見から事業の組み立ての参考にすることができた。

まちづくり講演会は、各住民自治協議会からニーズに対応し、東近江市の2地区のまちづくり協議会を招いた。設立の経過や市民参加の状況、具体的な活動内容などを聞き、小グループで情報交換することができた。

1. 会員数

正会員 18名、賛助会員 13名（団体、個人）（2023年6月）

2. 理事会・総会

第1回 5月8日（月）18:30～19:30

旬菜和風 縁（今津町）

理事総数 9名：出席者 5名、欠席者 4名

議題・2023年度（令和5年度）事業計画（案）

・2023年度（令和5年度）予算（案）

※終了後に懇親会開催（会員 2名、事務局 4名参加）

監査 5月18日（木）13:30～15:00

今津東コミュニティセンター 会議室 2

総会 6月4日（日）13:30～16:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

正会員総数 18名：出席者 7名、委任状 4名、欠席者 7名

監事 2名：出席 1名

賛助会員 13名：出席 4名

議題・2022年度（令和4年度）事業報告（案）

・2022年度（令和4年度）決算報告（案）

報告・2023年度（令和5年度）事業計画

・2023年度（令和4年度）予算

・イベント案内

映画「夢みる小学校」高島市上映会

みんなの居場所交流会

鮎ずし漬け体験会

※終了後、市内の市民活動団体や住民自治協議会の現状について情報共有および当法人の役割りについて意見交換

第2回 9月11日(月) 19:30~21:30
今津東コミュニティセンター 中会議室
理事総数9名：出席者6名、委任状出席1名、欠席者2名
議題・事業進捗について
・綾羽工業の森について
・次年度のスタッフについて

第3回 1月30日(火) 18:30~19:30
お食事処ととろ(マキノ町)
理事総数9名：出席者6名、委任状出席2名、欠席者1名
・2024年度事務局体制について
・2024年度の役員改選について
・2024年度事業について

※終了後に新年会開催(会員2名、監事1名、事務局3名参加)

3. まちづくり講演会「暮らす1人ひとりがまちづくりの主役」

東近江市のまちづくり協議会から学ぼう

～五個荘地区まちづくり協議会、蒲生地区まちづくり協議会～

7月9日(日) 13:30~16:30

今津東コミュニティセンター 3階ホール

①6地域の住民自治協議会から報告

②東近江市のまちづくり協議会に学ぼう

・東近江市のまちづくり協議会に学ぼう

五個荘地区まちづくり協議会、蒲生地区まちづくり協議会

③グループ対話(少人数に分かれてじっくりお話しを聞く)

参加者 50名(一般参加31名、自治協会長6名、市職員13名)

※詳細については、[地域自治協議会支援事業\(4\)市民向け講座-まちづくり講演会](#)を参照ください。

Ⅱ. たかしま市民協働交流事業

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

<目標>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業を取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、また団体やグループが紙面をとおしてつながることを目的に作成、配布する。

- ・表紙で協働提案事業 3 件を掲載し、活動への理解を広げる。
- ・伝言板は、掲載団体が固定化しないよう多様な団体の掲載をめざす。

<成果>

当初の計画の通り、年間 4 回の発行ができた。

表紙では、今年度協働提案事業 3 件の紹介ができた。59 号では 6 地域の住民自治協議会を取材し、各地域の取り組みを市民に広く紹介する記事を掲載できた。

伝言板については、計 26 団体、延べ 50 件の情報を掲載した。掲載団体から「問い合わせやイベント来場者が増えた」「新たな会員の申し込みがあった」等の声が届いた。継続して掲載を希望される団体や紹介を受けた別の団体から依頼が入るケースも増えてきた。

発行形態について、44 号から A3 版二つ折りの「本体」に加え、市民活動団体の情報発信を行う A4 版の「伝言板」の 2 種類を発行してきたが、配布にあたる区・自治会から配布物の削減要請があり、62 号では掲載内容を削り、「本体」と「伝言板」を統合し 4 ページとして発行した。次年度は掲載内容を削ることなく発行するために、「本体」4 ページ「伝言板」2 ページを 1 体として発行したい。

配布先は、新たな配布先を開拓し計 110 か所となった。引き続き配置場所の拡大を図る。

① 発行・配布実績

発行部数：各回とも 18,000 部

配布先：市内全戸、市内公共施設、市内金融機関(銀行、JA、郵便局)、市内小中学校、市内観光施設、JR 駅構内観光案内所、市内設置協力施設および企業・店舗等

② 紙面構成 本誌 (A4 仕上げ 4 ページ)

1 ページ(表紙) 協働提案事業紹介

2 ページ 「はっけん! きらっと市民活動 in たかしま」市民活動団体の紹介 2 団体

3 ページ 「高島の元気企業」地域貢献に意識の高い事業者に取材し、経営理念や地域への想いを伝える

「市民活動質問箱」相談業務の実績から市民活動に関する疑問・質問に関する情報提供など

4 ページ(裏表紙) 当センター事業告知

○市内団体告知「おむすび・たかしま伝言板」(A4 両面 2 ページ) ※61 号まで発行
市民活動団体、ボランティアグループ等のメンバー募集やイベント案内を掲載。

③ 掲載内容

◆59号（7月1日発行）

1. 表紙：高島市協働提案事業
「スポーツの可能性を広げる新しいウォーキングイベントの開催」
認定NPO法人TSC x 高島市役所市民スポーツ課
2. 特集「6地域の住民自治協議会を紹介します！」
3. インフォメーション
 - ・令和5年度「まちづくり講演会」案内
 - ・居場所に関わっている方のための交流会
 - ・たかしま市民協働交流センター スタッフ紹介
4. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計13件
 - ①男のまかないクラブ②③NPO法人絵本による街づくりの会④高島市ニャンコの未来⑤NPO法人結びめ⑥たかしまおもちゃ病院⑦自主保育ホトリ⑧NPO法人麻生里山センター⑨ADGW⑩湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑪手ではなそう⑫たかしま森林セラピー⑬NPO法人コミュニティねっとわーく高島

◆60号（10月1日発行）

1. 表紙：高島市協働提案事業
「たかしまで女性のライフワークを叶える」
Pivot～たかしまで女性のライフワークを叶える～ x 高島市役所人権施策課
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
ニコニコクラブ おもちゃ図書館、針江生水の郷委員会
3. 質問箱：助成金の申請をしてもなかなか選択されません
4. 高島の元気企業：農事組合法人 マキノ町果樹生産組合
5. インフォメーション
 - ・たかしま市民活動フェスタ2023
 - ・「まちづくり講演会」開催報告
 - ・「市民の活動のために助成金を活用しよう！」
 - ・「居場所に関わっている方のための交流会」
6. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計13件
 - ①FEC自給圏ネットワーク②手ではなそう③たかしまおもちゃ病院④湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑤大溝まちづくりマルシェ実行委員会⑥おかたづけバザーの会⑦NPO法人絵本による街づくりの会⑧パブリカ⑨らくらくピアノサークル⑩たかしま森林セラピー⑪トゥインクルスターズ⑫サタエアロ⑬大溝の水辺景観まちづくり協議会

◆61号（1月1日発行）

1. 表紙：「たかしま市民活動フェスタ2023」開催報告
2. 市内活動団体紹介<2団体>（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
野遊び塾、パブリカ

3. 質問箱：人とつながりができる場をつくりたい
4. 高島の元気企業：松井建設株式会社
5. インフォメーション
 - ・「高齢者の移動手段を考える勉強会」
 - ・「超高齢社会体験ゲーム コミュニティコーピングを体験しよう！」
 - ・「居場所についていろいろ語り合う交流会」
 - ・「みんなの本棚を整理します」
6. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計 12 件
 - ①たかしま腎臓難病友の会②おかたづけバザーの会③足から子どもの未来を考える会④街中美化運動はなのみち⑤オンラインエクササイズK-room⑥Moonglow⑦NPO法人麻生里山センター⑧たかしま森林セラピー⑨手ではなそう⑩男のまかないクラブ⑪高島市の図書館を考える会⑫高島人(たかしまんちゅ)ラジオ

◆62号(4月1日発行)

1. 表紙：協働提案事業

「市民と協働して進める再生可能エネルギー普及事業」

FEC 自給圏ネットワーク × 高島市役所環境政策課

2. 市内活動団体紹介<2団体>(はっけん!きらっと市民活動 in 高島)

タネカプロジェクト、しずさと紡ぐ会

3. インフォメーション & 伝言板

- ・「たかしま市民活動フェスタ 2024 実行委員会メンバー募集」

おむすび・たかしま伝言板 市民活動情報 計 11 件

- ①安曇川男の料理クラブ②たかしま森林セラピー③たかしまおもちゃ病院④湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑤高島もったいフェス実行委員会ま⑥フレッシュエアロ⑦詩吟体験教室⑧高島ベースボールクラブ⑨NPO 法人絵本による街づくりの会⑩アイリスウインドオーケストラ⑪ゆめばれっと高島(高島市働く女性の家)

※高島の元気企業、市民活動質問箱は紙面の都合上削除

59号



60号



61号



62号



59号伝言板



60号伝言板



61号伝言板



※62号伝言板は本体内に配置

たかしま市民協働交流センターホームページ
情報誌ページにてPDFを掲載

<http://tkkc.takashima-shiga.jp/report.html>



(2) 市民活動団体情報の集積

<目標>

ホームページで市民活動団体およびボランティアグループ等をカテゴリーに分類し、各団体の連絡先や活動内容を掲載。情報誌などで取材した団体を順次掲載していく。掲載団体に内容の確認を行い更新していく。

<成果>

掲載団体は、取材した団体3団体および6地域の住民自治協議会を掲載することができた。掲載内容について、団体に確認し更新することができた。

カテゴリー：16 掲載団体数：115（対前年比9団体増）

子育て支援	9	子どもの体験	11	学童保育	5
青年	2	女性支援	1	文化・歴史	19
災害	3	福祉・保健	27	ボランティア	4
環境・自然	18	移住促進	1	国際	0
まちづくり	4	自治協議会	6	地域づくり	5
政策提言	0				

(3) WEB情報発信

<目標>

ホームページでは、当センターの活動を広報するため、基本情報、利用案内、事業報告と決算、情報誌のバックナンバーなどを掲載。市民活動団体のイベント情報、市民活動団体に向けての研修や助成金情報をタイムリーにブログに掲載し、同時にフェイスブックで拡散。月2回のメルマガで登録者へ発信する。

- ・メルマガ登録者数を増やす
- ・助成金情報などは相談事業にも活用する

<成果>

- ・ブログ掲載内容はフェイスブックで同時に発信し、1日のアクセス数は50~100件程度あり、市民活動等の関心層に拡散することができた。
- ・急なイベント告知依頼にも対応し、イベントの周知や集客につなげることができた。

①ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

事業報告、利用案内、情報誌「おむすび・たかしま」バックナンバー、市内の市民活動団体一覧などを掲載した。



② ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

当センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。



<2023年度 掲載実績>

センターからのお知らせ	51件
助成金情報	246件
高島市の市民活動情報	79件
滋賀県・全国の市民活動情報	35件
ボランティア募集情報	0件
行政、企業からのお知らせ	8件
たかしまの森へ行こう！関連	4件
イベントレポート	4件
その他(スタッフ日記)	5件
計	432件
※ 対前年度 107件増	



- ③ フェイスブック：<https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>
 主にブログに掲載した情報の拡散に活用するとともに、高島市内の市民団体のフェイスブックの記事のシェアを行ない、情報発信の支援を行なった。



- ④ X (旧：ツイッター)：<https://twitter.com/koryusenta>
 ブログに掲載した情報の拡散に活用してきたが、2023年5月以降、X社(旧Twitter社)が外部SNSとの連携機能を変更して以降ブログとの連携が停止している。(2024年3月現在、停止状態)



- ⑤ メールマガジン
 受信登録件数：184件(2024年3月末現在)
 発行回数：24回(月2回発行)
 内容：当センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

2. 相談支援事業

<目標>

団体の自立的、持続的な活動支援を目的に相談対応にあたる。

活動や活動への思いを伝えるための広報の重要性を伝え、チラシ作成などを支援する。団体設立では活動によって地域社会のどんな変化をめざすのか、会則づくりなどを仲間と十分に話し合うことを伝える。資金に関する相談では、助成金申請や寄付の集め方など、相談者にスキルが残るようサポートする。団体相互の連携、公的機関とのつなぎなど相談者のネットワークを広げるよう意識する。

<成果>

毎年、団体や活動者の紹介などコーディネートに関する相談が多いが、今年度は移住して来られた方からの相談に継続的に対応した。趣味の合う人や多様なコミュニティに出会いたい、コミュニティビジネスの共感者を探したいなどの相談に対し、活動グループや行政などにもつなぐことができた。高島市のお試し暮らしの体験者からは、京阪神と市内の子どもの交流イベントについて企画していると相談を受け、市内の子どもの自然体験団体などにつなぎ、夏と冬に交流イベントを無事開催された。

龍谷大学から社会学入門演習の研修プログラムのコーディネート依頼があり、法人の事業として対応した。

各地域住民自治協議会からの相談は、会計処理に関する相談が最も多く、次いで役員会など会議の進め方、テーマ型の市民活動団体の紹介などがあった。また市外の自治組織への視察のコーディネートが1件、市外の自治組織から高島市の自治協議会支援についての視察依頼があり、県内外2地域から約30名の来訪に対応した。

助成金について継続的に支援している団体があり、1件は毎年少額の助成金を得て活動されているが、助成金が無いと活動できないとのことで、会費や寄付を集める工夫についても説明した。助成金での購入が難しい高額な備品購入を考えておられる団体については、寄付依頼書の書き方を支援し、寄付集めを始められた。今年度も資金に関する相談が多く、市民活動やまちづくり活動のための資金に関する講座を開催した。

「おうみ社会貢献賞」へは1団体を推薦し受賞された。

(1) 相談件数 117件 (115時間)

	相談内容	件数	時間数
1	NPO 法人・NPO 設立	1	0.5
2	NPO 法人・NPO 解散	0	0
3	コーディネート（団体等へのマッチング・紹介）	41	33.5
4	資金（助成金・寄付）	13	11
5	実務（経理、税理、労務など）	15	15.5
6	協働（協働提案事業関連含む）	7	11
7	事業計画	5	7.5
8	情報発信	12	9

9	組織運営（規約、会計、会議運営など）	11	12.5
10	センターの活動について	7	10.5
11	その他	5	4

相談組織

	組織	のべ件数		組織	のべ件数
1	NPO 法人	5	6	社会福祉法人	3
2	任意団体	54	7	公的機関	7
3	地縁組織	1	8	教育機関	1
3-1	住民自治協議会	23	9	その他	1
4	財団法人・社団法人	1	10	個人	16
5	営利事業者	5			

○継続相談について

① 新旭ふれあい食堂(4 件)

高齢者でも持ち運びや片付け等が簡単にできる大型のテント購入(約 30 万円)を考えているが、備品購入の助成金はないだろうか?と相談があった。多くの住民や事業者が関わる団体であり、寄付集めを提案したところ、一口 1000 円程度でたくさんの方が応援してくれることが励みになると寄付集めをされることになり、寄付依頼書の書き方を支援した。

② 高島市ニャンコの未来(4 件)

公共施設で定期譲渡会の開催が始まり、メディアや市民の注目も集めるようになってきた。秋に TNR(野良猫の捕獲、不妊手術、元の場所へ戻す)活動を実施。事前受付の窓口を当センターで対応した。環境政策課、社会福祉課などの連携も進んでいる。安定した資金の確保に課題があり、寄付を集めるためにも決算を公開できるように経費管理に関する支援を続けたい。

③ 美化活動はなのみち(4 件)

他の団体と一緒に活動写真展示をしたいと相談があり、市民活動フェスタ出展団体にも活動写真やポスター展示を呼びかけたところ、9 団体の展示となり、お互いの活動を知る機会となった。

マキノ花とみどりの会の代表者と市内で花づくりをしているグループで交流をしたいと話される機会があり、当センターで交流会を支援してほしいと相談があった。広報と当日の運営を支援。3 団体 11 名が参加し情報交換された。



④ 宮の森公園クリーンアップの会

2022 年から宮の森公園近隣の住民が、高島市と相談しながら公園の雑草と樹木の管理を始めた。活動に必要な助成金を探しておられ、助成金の紹介と申請書の書き方など、支援を継続してきた。公園の管理者である高島市が会の実績を認め、次年度から公園管理業務の一部を業務委託することになったと報告いただいた。活動の安定につながればと思う。

(2) 表彰の推薦など

公益財団法人滋賀県市町村振興協会主催「おうみ社会貢献賞」へ下記団体を推薦したところ、受賞された。

第 12 回おうみ社会貢献賞 人形劇団あっぷりけ

(3) コピー・大判プリント等対応記録

① コピー・大判プリントの対応 217 件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	16	9	26	17	21	24	29	10	10	25	17

② 機材貸出 3 件（プロジェクターの貸出 3 件）

3. 協働提案事業

<目標>

実施中の協働提案事業について、担当課と提案団体にヒアリングしながら、適切な支援を行っていく。情報誌で協働提案事業を掲載し、市民に伝える機会を持つ。

次年度実施の協働提案募集について、新しい団体の応募を支援する。

<成果>

3 件の協働事業について、担当課と提案者に適宜ヒアリングしながら連携状況などを確認し、事業の実施を支援することができた。

情報誌おむすびたかしまの表紙で3件の事業を紹介し、市民に広報することができた。

今年度で協働提案を終了する事業については、団体と担当課に次年度以降の継続方法について確認した。今後の事業継続や展開については、必要な支援を続けたい。

次年度の協働提案事業について、応募前や審査前の担当課との相談などに対応し、次年度新規採択3件、継続2件の事業となった。

(1) 協働実施支援

① 「スポーツの可能性を広げる 新しいウォーキングイベントの開催」

提案者：認定 NPO 法人 TSC

担当課：市民スポーツ課

5月21日 イベント「ゴミ&アート ウォーキング」開催

(情報誌「おむすび たかしま」59号 表紙記事で紹介)

5月29日 事業スケジュールに関する打ち合わせ

11月15日 中間点検、次年度相談

② 「たかしまで女性のライフワークを支える」プロジェクト

提案者：たかしまライフワークステーション(Pivot)

担当課：人権施策課

5月15日 事業スケジュールに関する打ち合わせ

6月22日 「自己実現ワーク&相談・ランチ交流会(1回目)」開催

(情報誌「おむすび たかしま」60号 表紙記事で紹介)

9月14日 「自己実現ワーク&相談・ランチ交流会(2回目)」開催

11月14日 中間点検、次年度相談

③ 高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及(行政提案)

【2年目】

提案者：FEC 自給圏ネットワーク

担当課：環境政策課

[打ち合わせ/ワークショップ開催/相談対応]

第1回 4月27日 14:30~16:30 今津東コミュニティセンター 中会議室

第2回 5月26日 14:30~16:30 今津東コミュニティセンター 中会議室

- 第3回 6月16日 13:30~15:30 高島公民館 会議室3
- 第4回 7月28日 14:00~17:00 高島公民館 会議室2
- 相談 8月3日 今津東コミュニティセンター
- 第5回 8月28日 14:00~16:00 zoom
- 第6回 9月27日 13:00~15:00 zoom
- 中間点検 11月16日 10:00~11:00 高島市役所 本館
- 第7回 11月24日 14:00~16:00 今津東コミュニティセンター 中会議室
- 相談 12月12日 今津東コミュニティセンター
- 第8回 1月12日 13:30~15:30 今津東コミュニティセンター 小会議室1
- 相談 2月8日 市役所

(情報誌「おむすび たかしま」62号 表紙記事で年間事業紹介)

[イベント開催]

- 11月26日 11:00~15:00 Re:フェスタかしま 開催
(土に学ぶ里研修センター(マキノ))

[その他活動]

これまでの事業内容をまとめ、高島市における再生可能エネルギー、省エネルギーの普及を目指す目的でパンフレットを作製。

印刷発注に関して当センターから支援を行った。



(2) 応募説明会

市主催の応募説明会で、参加者の質問などに対応した。

11月9日(木) 19:00~20:00

高島市役所 新館

(3) 応募相談

応募に向けて、提案団体からの相談および提案に関連する担当課との相談にファシリテーターとして対応した。

11月29日 家庭的保育園 Peek-a-boo、市民協働課

12月4日 森の実験室、市民協働課

12月13日 (一社)めいどいんマキノ、農業政策課

12月13日 森の実験室、森林水産課

12月20日 滋賀県高島農業農村振興事務所(高島市青年農業者クラブ関連)

12月14日 高島の森-未来につなぐ山守を考える会、森林水産課

12月15日 高島市青年農業者クラブ、農業政策課

(4) 審査会

プレゼンテーション(3団体)、担当課ヒアリング、選考会、継続事業承認審査会においてアドバイザーとして対応した。

1月17日(水) 13:30~17:00 市役所

(5) 採択団体と担当課協議

新年度のスムーズな事業開始のために、事業の目標、互いの役割、スケジュールなどを確認する機会において、ファシリテーターとして対応した。

打合せ日：2月29日、3月1日

[新規採択団体]

- ① 木で人と里山をつなぐ、地域資源を掘り起こし美しい里山の暮らしを取り戻す循環型事業
提案団体：森の実験室
担当課：森林水産課
- ② 市内若手農家と市民の連携による農業マルシェの開催と農業関係人口の増加
提案団体：高島市青年農業者クラブ
担当課：農業政策課
- ③ びわこ雫の里山プロジェクト～住民による里山森林整備で地域活性化へ～
提案団体：高島の森-未来につなぐ山守を考える会
担当課：森林水産課・市民協働課

[継続団体]

- ④ スポーツの可能性を広げる、新しいウォーキングイベントの開催（行政提案）
提案団体：認定NPO法人TSC
担当課：市民スポーツ課
- ⑤ 「たかしまで女性のライフワークを叶える」プロジェクト
提案団体：たかしまライフワークSta.
担当課：商工振興課

(6) 成果報告会

開催日：3月18日（月）13:00～14:30 高島市役所 新館

報告：①「たかしまで女性のライフワークを叶える」プロジェクト

Pivot（たかしまライフワークSta.）× 人権施策課

②スポーツの可能性を広げる、新しいウォーキングイベントの開催

NPO法人TSC × 市民スポーツ課

③高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及事業

FEC自給圏ネットワーク × 環境政策課

4. 市民活動団体・人材の育成

<目標>

相談対応実績から市民活動団体や自治組織の運営に役立つ講座を企画し、団体のスムーズな運営や資金的な課題の支援につなげる。

今年度は、出席者が発言しやすく前向きに参加できる会議のためのホワイトボード・ミーティング講座を行う。また助成金に関する相談が多く、助成を得るための考え方を学ぶ機会および滋賀県内の助成団体から直接話しを聞ける機会を設ける。さらに例年実施している市民活動やまちづくり活動のためのファンドレイジング講座を開く。

第4期まちづくり推進会議において、当センターの新たな機能として期待された市民活動などに関心ある人が集まる場づくり（人財育成のためのコミュニケーションの場づくり）については、継続的な場づくりをめざしてコミュニケーションの場を作りたい団体や個人とともに場を開いていく。

<成果>

ホワイトボード・ミーティング講座では、質問の仕方や話を聞き出す問いかけ方、ホワイトボードの使い方など、実践的、実用的な内容の講座となった。助成金講座では、市民活動の基礎や助成金を活用する意義、助成団体との直接のお話しにより、参加者の助成金申請につながった。ファンドレイジング講座は、市内の市民活動団体の事例から資金について、事業の継承について考える機会になった。

市民が気軽にまちの気になる事、まちでしたいことなどを話せるコミュニケーションの場づくりについて、高島市社会福祉協議会や未来のジャムを運営する SOCIAL WORKERS LAB(SWL)、まちの人事企画室と相談をした結果、高島住民福祉ネットワークが毎月開催しているカフェまちあかりで実施することとなった。マキノ町のカフェでもコミュニケーションの場づくりをしたいと相談があり、誰でも気軽に来られる場を始めたが、進める中でテーマを絞って開催する方向へ進んできた。運営者の趣向によって多様な場が市内に広がればと思う。安曇川中央区の住民からも相談があり、コミュニケーションの場づくりを共に進めることになった。令和6年4月21日を第1回目とし、継続的に開くために共に進めていきたい。

(1) 市民活動に関する講座の開催

① ホワイトボードを使って会議を元気にしよう

ホワイトボード・ミーティング®講座

日時：9月21日(木)19:00~21:30

会場：今津東コミュニティセンター 中会議室

講師：西川実佐子さん

(ホワイトボード・ミーティング®認定講師、
認定特定非営利活動法人しがNPOセンター 理事・事務局長)

参加費：500円(資料代)



参加人数：6名

内容：自己紹介、ホワイトボード・ミーティング®とは、普段の会議のふりかえり、「オープンクエスチョン」と「あいづち」、練習してみよう、ふりかえりアンケート回答

- ・質問の技カードの使い方がたいへん参考になった。
- ・相談支援業務でも使えそうでした。自分のものにするにはかなり時間がかかると思いますが、思い出しながらやってみようと思います。
- ・地域でも仕事でも活かせる工夫がたくさんあった。

② 市民の活動に助成金を活用しよう！

助成金を出す側の想いを聞き、申請書の書き方を考える

日時：11月26日(日)14:00～16:30

会場：今津東コミュニティセンター 中会議室

講師：遠藤恵子さん(NPO 法人まちづくりスポット大津 理事)

助成団体：未来ファンドおうみ（淡海ネットワークセンター）
夏原グラント（平和堂財団 環境保全活動助成事業
できるコトづくり制度（生活共同組合コープしが）
高島市共同募金委員会

参加費：500円

参加人数：4名

内容：市民活動の始まり、活動を継続するために、助成金の活用と助成団体とは
助成金情報の集め方、申請書を書くために
助成団体と面談

参加者感想

- ・助成金だけでなく市民活動の基本的な部分から説明があり、勉強になりました。
- ・助成団体担当者とゆっくりお話することができ、よく理解できました。



③ 市民活動&まちづくりを共感で進めるお金のはなし ～事例から学ぼう～

日時：3月22日(金)19:00～21:00

会場：今津東コミュニティセンター 中会議室

講師：戸田由美さん(認定ファンドレイザー、中小企業診断士)

参加費：500円

参加人数：4名+資料希望者2名

内容：事例：フードバンクびわ湖たかしま

ヴォーリス今津郵便局の会

(活動経過、事業紹介、今後の展望)

- ・ファンドレイジングの本質、財源ごとのメリット・デメリット、民間非営利組織の財源の特性、ファンドレイジング事例など

アンケート回答

- ・クラウドファンディングの仕組みを少し学べた。
- ・協力や支援を受けるしかけについて勉強になりました。共感を得て、カジュアルな協力をしてもらえることが重要だと分かった。



(2) 市民活動に興味がある人をつなぐ場づくり

① コミュニケーションの場づくりに関する相談記録

4月17日 高島市社会福祉協議会、高島 Be スマイル、交流センター

- ・未来のジャム、まちの人事企画室の経過について
- ・コミュニケーションの場づくりについて

4月26日 TAKASHIMA 未ラボ、まちの人事企画室、高島市社会福祉協議会、交流センター

- ・まちの人事企画室、拠点づくり、コミュニケーションの場づくり、未来のジャム、それぞれの目的確認

5月10日 SOCIAL WORKERS LAB(SWL)、交流センター

- ・高島市での役割りについて

5月19日 SWL、高島市社会福祉協議会、高島 Be スマイル、交流センター

6月7日 SWL、高島市社会福祉協議会、高島 Be スマイル、交流センター

- ・各組織の背景、ミッション、機能について共有し、それぞれがめざすことについて意見交換

7月31日 高島市社会福祉協議会、交流センター

- ・コミュニケーションの場づくりと拠点づくりの違いと共通点など

10月3日 高島住民福祉ネットワーク、交流センター

- ・カフェまちあかりの現状と課題、コミュニケーションの場としてできること

10月24日 高島住民福祉ネットワーク、交流センター

- ・カフェまちあかりでの場づくりについて

10月27日 コティカフェ、交流センター

- ・コティカフェでの場づくりについて

12月5日 高島住民福祉ネットワーク、交流センター

- ・1月のカフェまちあかりについて

- 1月19日 コープしが高島、交流センター
 - ・コープしが高島でのスペースの活用とコミュニケーションの場づくりの相談
- 2月1日 安曇川中央の住民、高島市社会福祉協議会、交流センター
 - ・自治会の無い地域で住民が気軽に地域のことを話せる場づくりについて
- 2月1日 もったん再生屋、コティカフェ、交流センター
 - ・2月のコティカフェのほっと部屋「聴こえないを知ろう」打合せ
- 2月29日 anela ペットセラピスト、コティカフェ、交流センター
 - ・3月のコティカフェのほっと部屋「ワンちゃんのこと気軽に相談会」打合せ
- 3月11日 安曇川中央の住民、高島市社会福祉協議会、交流センター
 - ・4月21日開催予定の中央4丁目カフェ(仮)の目的、参加者、広報について

② コミュニケーションの場づくり実施記録 7回

- 11月9日(木) 10:00~11:30 まちあかり(高島市勝野) 参加者 7名

みんなのコミュニティ・カフェ
カフェまちあかり

- ・「美味しいコーヒー」のいれ方

- 12月6日(水) 13:30~15:30

コティカフェ(マキノ町沢) 参加者 8名
コティカフェのほっと部屋

- ・チームオリーブ」によるハンドマッサージ体験、まったりおしゃべり



- 1月11日(木) 10:00~11:30 まちあかり(高島市勝野) 参加者 10名

みんなのコミュニティカフェ カフェまちあかり

- ・もちより音楽カフェ

- 1月27日(土) 13:30~15:30 コティカフェ(マキノ町沢)

コティカフェのほっと部屋 参加者 7名

- ・やきいも焼くよー

- 2月8日(木) 10:00~11:30 まちあかり(高島市勝野)

みんなのコミュニティカフェ カフェまちあかり

- ・スマホ相談 参加者 10人

- 2月22日(木) 13:30~15:30 コティカフェ(マキノ町沢)

コティカフェのほっと部屋 参加者 2名

- ・聴こえないを知ろう

- 3月21日(木) 13:30~15:30 コティカフェ(マキノ町沢)

コティカフェのほっと部屋 参加者 3名

- ・ワンちゃんのこと気軽に相談会



(3) 第4期まちづくり推進会議の提案内容の実現に向けた支援

<目標>

「資源の再確認と活用」グループについて、メンバーの中で継続的にちぢみの活用と市民へ認知を広げるための取り組みについて、小さな実践につなげていく。

<成果>

市内のカフェやイベントで、ちぢみを使ったワークショップを実践するメンバーは今後も活動を続けていくようだが、高島市商工観光部との意見交換後、グループとしては解散するという結論に至った。

活動記録

- 5月14日 高島ちぢみワークショップ実施 白湖
- 6月10日 オンラインミーティング
- 6月25日 オンラインミーティング
- 8月19日 オンラインミーティング
- 8月22日 高島市商工観光部長と意見交換
- 8月26日 グループLINEにてグループのいったん解散が伝えられた

5. 住民自治協議会支援事業

<目標>

住民自治協議会(自治協)が事業を開始し2年目となる。市民に向けて自治協に関する情報発信を行い、各自治協について周知していく。

昨年に引き続き、各自治協の運営や事業に関する情報共有の機会づくり、事務局の支援、会計等に関する情報共有や学習の機会づくりを行い、相互に学び合う関係性づくりをめざす。

まちづくり講演会では、自治組織について県内先進事例から学び、自治協の役割りや市民の関わりについて、参加者同士が意見交換する機会とする。

全体研修では、高齢化が進む社会において人のネットワークや情報共有の重要性が実感できるゲーム体験から自治協や市民のできることを考える機会とする。

<成果>

今年度も6地域の自治協会長交流会、事務局交流会・勉強会、全体研修会、全体交流会等を通して、お互いの活動を知り、互いに情報共有による学び合いの関係性を深めることができた。

まちづくり講演会では、東近江市の五個荘地区および蒲生地区のまちづくり協議会から設立からこれまでの経緯や区・自治会との関係、指定管理運営などを学ぶことができた。全体研修として実施した「超高齢社会体験ゲーム」では、地域課題やニーズを自治協としてどのように把握できるか、市民として情報を誰にどうつなぐといいか、考える機会となった。

(1) 自治協支援に関する打合せ・巡回ヒアリング

① 打合せ

5月2日(火)15:00~16:45 市役所

市民協働課、交流センター

5月25日(木)10:00~11:00 オンライン

アドバイザー(合同会社喜代七)、市民協働課、交流センター

8月17日(木)10:00~11:30 今津東コミュニティセンター・オンライン

アドバイザー(合同会社喜代七)、市民協働課、交流センター

9月15日(金)10:00~11:00 今津東コミュニティセンター・オンライン

アドバイザー(合同会社喜代七)、市民協働課、交流センター

② 巡回ヒアリング

各地域の運営状況、事業の進捗、課題を把握するためにアドバイザー 合同会社喜代七代表 山元圭太さん、市民協働課、交流センターでヒアリングを行った。

安曇川住民自治協議会

10月5日(木)13:30~14:30 安曇川公民館

ヒアリング：会長、事務局長

新旭住民自治協議会

10月5日(木)15:30~16:30 まちラボ エスパ

ヒアリング：事務局員

マキノまちづくり協議会

10月5日(木)17:00~18:30 マキノ駅観光案内所

ヒアリング：会長、事務局長

朽木地域住みよいまちづくり推進協議会

10月6日(金)9:00~10:00 朽木支所

ヒアリング：会長、副会長、事務局長

高島地域住民自治協議会

10月6日(金)11:00~12:00 高島公民館

ヒアリング：会長、副会長、事務局長、事務局員

今津地域住民自治協議会

10月6日(金)13:30~14:30 今津東コミュニティセンター

ヒアリング：会長、事務局長、事務局員

市民協働課と今後の支援について打合せ

10月6日(金)15:30~16:30 市役所

出席 アドバイザー 山元さん、市民協働課長、担当者、交流センター

<アドバイス>

・全住民アンケート

中学生以上の住民意識を把握し、地域ニーズや課題に合った事業のためのデータを得る。

・地域おせっかい会議

まちのこと、気になる事など住民誰でも話せる場を作る。地域住民のニーズや課題を地域住民と自治協がともに考える場になる。

・まちづくりにおける自治協の役割りの提示

行政側からも自治協に今後どのような役割や機能を期待しているのか提示する。

③ 事務局ヒアリング

組織運営、会計管理に関するヒアリングおよび交付金報告に向けて帳簿等証拠書類の確認のため、市民協働課、交流センターでヒアリングを行った。

安曇川地域住民自治協議会

1月19日(金)13:30~17:30 安曇川公民館

ヒアリング：事務局長、事務局員

マキノまちづくり協議会

1月22日(月)13:30~16:30 マキノ支所

ヒアリング：事務局員

高島地域住民自治協議会

1月23日(火)9:00~12:15 高島公民館

ヒアリング：事務局長、事務局員

新旭地域住民自治協議会

1月25日(木)13:30~16:30 まちらぼエスパ

ヒアリング：事務局員

朽木地域住みよいまちづくり推進協議会

1月26日(金)9:00~12:00 朽木支所

ヒアリング：事務局長

今津地域住民自治協議会

1月31日(水)13:30~16:30 今津東コミュニティセンター

ヒアリング：事務局長、事務局員

(2) 自治協議会交流会の実施

①会長交流会

会長同士がざっくばらんに各自治協の運営上の工夫や悩みを共有することを目的に開催した。

4月17日(月) 13:30~16:00	今津東コミュニティセンター	各自治協の総会について、情報誌おむすびたかしまでの6地域自治協紹介、市民活動フェスタへの出展依頼、まちづくり講演会のテーマ相談など
6月19日(月) 14:00~16:15	安曇川公民館	各自治協の状況共有
9月4日(月) 14:30~16:30	朽木支所	自治協連絡会の話題について、自治協全体交流会について
11月7日(火) 14:00~16:00	高島公民館	全体研修会・全体交流会の内容について、20周年記念事業の6地域連携企画について、各自治協状況共有
12月22日(金) 14:30~16:30	今津東コミュニティセンター	6地域連携企画について、市民協働課から次年度の会議体他に関する相談、各自治協の状況共有
2月14日(水) 14:30~16:30	今津東コミュニティセンター	6地域連携企画について、市民協働課から(次年度交付金について・区長連絡会について、地域担当職員について)、各自治協の状況共有

③自治協全体交流会

各自治協の事業をお互いに知る機会、および関心を持つ市民が直接、各自治協から運営や事業について話を聞くことができる機会として開催した。

②相談対応 23件

月日	自治協	内容
4月5日	新旭	会計に関して
4月11日	新旭	会計に関して
4月28日	新旭	会計に関して
5月19日	新旭	総会について
6月15日	安曇川	事務局体制について
6月15日	新旭	会計に関して
6月28日	マキノ	運営に関して
7月7日	新旭	会計に関して 視察に関して
7月13日	朽木	団体紹介
7月14日	新旭	会計に関して
8月11日	新旭	視察に関して
8月22日	新旭	視察に関して
8月23日	新旭	会計に関して
9月29日	安曇川	団体紹介
11月1日	新旭	会計に関して
11月9日	マキノ	運営に関して
11月10日	マキノ	運営に関して
11月17日	新旭	税務に関して
1月31日	新旭	税務に関して
2月20日	新旭	税務に関して
3月7日	新旭	税務に関して
3月26日	安曇川	会計に関して

(4) 市民向け講演会—まちづくり講演会

「暮らす1人ひとりがまちづくりの主役

～東近江市のまちづくり協議会から学ぼう～五個荘地区、蒲生地区」

住民主体の自治組織が長年地域の活性化や地域課題へ対応される東近江市のまちづくり協議会の中から、地域に合った特徴的なまちづくりを進めておられるまちづくり協議会を招き、事例発表とグループワークでさらに詳しく聞き、関心のある市民、自治協議会のメンバーとともに、自治協議会の可能性や役割について学ぶ機会として開催した。

開催日 7月9日(日)13:30～16:30

会場 安曇川公民館 ふじのきホール

内容 ・6地域の住民自治協議会報告

・東近江市のまちづくり協議会に学ぼう

五個荘地区まちづくり協議会、蒲生地区まちづくり協議会

- ・グループ対話（少人数に分かれてじっくりお話しを聞く）

参加者 50名(一般参加31名、自治協会長6名、市職員13名)

アンケート感想意見(一部抜粋)

- ・まちづくり協議会活動の先進地事例、非常に参考になりました。市としても条例設置、活動の位置づけ、組織化、職員との協働化等が位置づけされている。
- ・高島市としても自治協と多様な組織との連携等、ピントをもう少し合わせて取り組む必要があると思います。
- ・自治協の役割り、目的について少し理解できました。人口減少、高齢化が進む中、自治協の存在、役割が大きくなることを感じました。
- ・全体会の後、各グループに分かれてまち協の方に直接お話しが聞けたことが、とても良かった。長きにわたって、まち協を続けておられること。動き出したばかりの当会にとっては夢のようで、熱意を感じ、励みにもなりました。



(5) 自治協議会連絡会議運営サポート

市と自治協が持続的な住民自治の仕組みについて意見交換する目的で開催。

第1回 9月13日(水)15:00~16:45 安曇川公民館

- ・連絡会について確認、指定管理の受託について、交付金の配分について、市制20周年記念事業の実施について

進行：交流センター アドバイザー：合同会社喜代七 山元圭太さん

(6) 全体研修会

①みんなで孤立をなくせ！超高齢社会体験ゲーム（コミュニティコーピング）

超高齢社会体験ゲームをとおして、高島市で進む高齢社会で起こる課題や孤立について考え、地域のさまざまなプレイヤーに気づく機会とし、また地域の課題や市民ができることに関心を持つ一般の参加者もゲームに参加し、自治協議会のメンバーと市民の交流と出会いの機会を目的に開催した。

開催日 2月12日(月・祝)13:30~16:00

会場 安曇川公民館 ふじのきホール

参加者 25名(自治協14名、一般市民6名、市職員3名、交流センター2名)

内 容 超高齢社会体験ゲーム

グループワーク(ゲームのふりかえり、地域で自分たちができること)

グループ発表

アンケート感想・意見(一部抜粋)

- 色々な悩みが具体的に書かれており、とても参考になりました。今後の活動を考える材料にしたいと思います。
- 助けてほしい人(と思う人)と支援できる人とのマッチング機会が重要と感じた。
- ネットワークの重要性をにあらためて気づかされたと同時に、そのネットワークを有効に活用するための働きかけが必要だと思った。
- 地域とのつながり、人材発掘等が問題解決に必要であり、まさに自治協が担う役割りと感じた。



②全体研修会(市主催)

「関係人口と一緒にしたい活動を考えよう」

講師：島根県立大学准教授 田中輝美さん(美又共存同栄ハウス運営)

3月22日(金)13:00~15:00 市役所

交流センターから2名参加

(7) その他

①各自治協議会 総会

5月13日 今津地域住民自治協議会 定期総会(今津東コミュニティセンター)

5月20日 マキノまちづくり協議会 定期総会(マキノ土に学ぶ里研修センター)

5月27日 新旭地域住民自治協議会 定期総会(新旭公民館)

※日程の合わなかった総会については、後日、総会資料をいただいた。

②高島地域住民自治協議会 理事会

5月11日 第8回理事会 高島公民館

7月13日 第9回理事会 高島公民館

9月14日 第10回理事会 高島公民館
11月9日 第11回理事会 高島公民館
1月18日 第12回理事会 高島公民館

③住民自治協に関する地域担当職員研修会

10月5日 市役所

6. 市民協働交流事業

<目標>

市民活動団体やボランティアグループがつながる機会と市民が市民活動を知り、参加するきっかけづくりを目的とする「市民活動フェスタ」を、建物改修工事とコロナ禍後の5年ぶりに通常規模で開催する。多様なテーマで活動する団体や自治組織の交流、来場する市民との交流によって団体の活性化や市民の参加を促す。

居場所に関する交流会では、「居場所」に関心を持つ方の情報交換や思いを共有するための交流会を開き、多様な参加者の出会いとつながりをつくる目的で開催する。

<成果>

市民活動フェスタは、実行委員を募集し、16名の実行委員とともに委員のアイデアを活かした企画で開催することができた。開催前には、参加団体同士のつながりをつくる目的で「つながりカフェ」を2回、参加団体打ち合わせ会を1回実施でき、団体同士のつながりづくりができた。テーマ型の市民活動団体だけでなく6地域の住民自治協議会も参加し、来場者は多様な市民団体と住民自治協議会の活動を知り、交流することができた。開催後は、ふりかえり会を開き次年度へ活かしたいことやアイデアなどを話すことができた。

居場所に関する交流会では、参加者同士が「居場所」についての想いや関わりについて語り合う機会となった。少人数でじっくりお互いの話を聞く時間を持つことができ、話題は気になっていること、フリースクール、認知症の介護、ひとり親家庭などにも広がり、参加者にとって満足度の高い時間となった。目的を絞らず語り合う場の有効性を感じた。

(1) たかしま市民活動フェスタ 2023

～みんなどうしてた？ ひさしぶりだよ♪ 全員集合!!～

日時：2023年11月12日（日）10:00～15:00

会場：今津東コミュニティセンター

出展団体：39団体 延べ来場者数：約500人

販売出店料負担金：500円（18団体）

目的：高島市の様々な市民活動団体が自身の団体活動を発信し、他の団体を知る交流をとおしてつながりをつくる。また、フェスタとしては5年ぶりの開催となるため、「再開・再会・変化」を発信し合うことで、自団体の活動をPRすることで、団体の活動に自信や誇りを高めることを目的に開催する。また、各地域住民自治協議会にも参加を促し、テーマ型市民団体との出会いと交流、市民への周知の機会とする。

チラシ作成枚数：10,500枚

チラシ配布先：市内・幼稚園、保育園、小学校、公共施設ほか事業所、その他参加団体関係者

◆2023年実行委員会（実行委員16名）

実行委員長 白崎 蓮 所属：高島市青年協議会

副実行委員長 北坂 晃大 所属：NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ

事務局 木下 彰・横江小百合 所属：たかしま市民協働交流センター

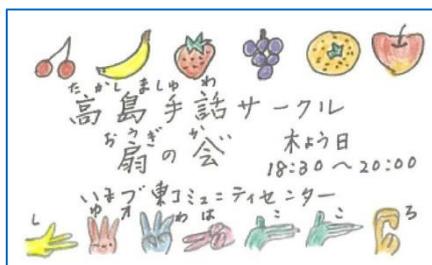
◆会議等

日付	開催内容	会議内容	出席者数
4/27	第1回フェスタ実行委員会	フェスタ開催日の決定・収支予算 イベント内容について	10名
5/15	第2回フェスタ実行委員会	これまでのフェスタイメージ これからのフェスタイメージ	8名
5/30	第3回フェスタ実行委員会	テーマの決定 実行委員長・副委員長の選出決定	12名
6/12	第4回フェスタ実行委員会	参加団体の募集について つながりカフェの開催について	8名
7/11	第5回フェスタ実行委員会	参加団体について 会場について・企画案について 告知先について	9名
8/2	第6回フェスタ実行委員会	参加団体状況について 企画について 当日のスケジュールについて	8名
9/5	第7回フェスタ実行委員会	第2回つながりカフェ開催について チラシ作成について 当日配布冊子について	9名
10/5	第8回フェスタ実行委員会	事前準備の流れ、スケジュールについて 当日の流れ・役割分担について検討 当日配布冊子の作成について	7名
10/30	配布冊子作成作業	ホッチキス止め（製本）作業	4名
11/7	第9回フェスタ実行委員会	最終スケジュールについて 搬入・搬出ルート・駐車場警備について 再確認	8名

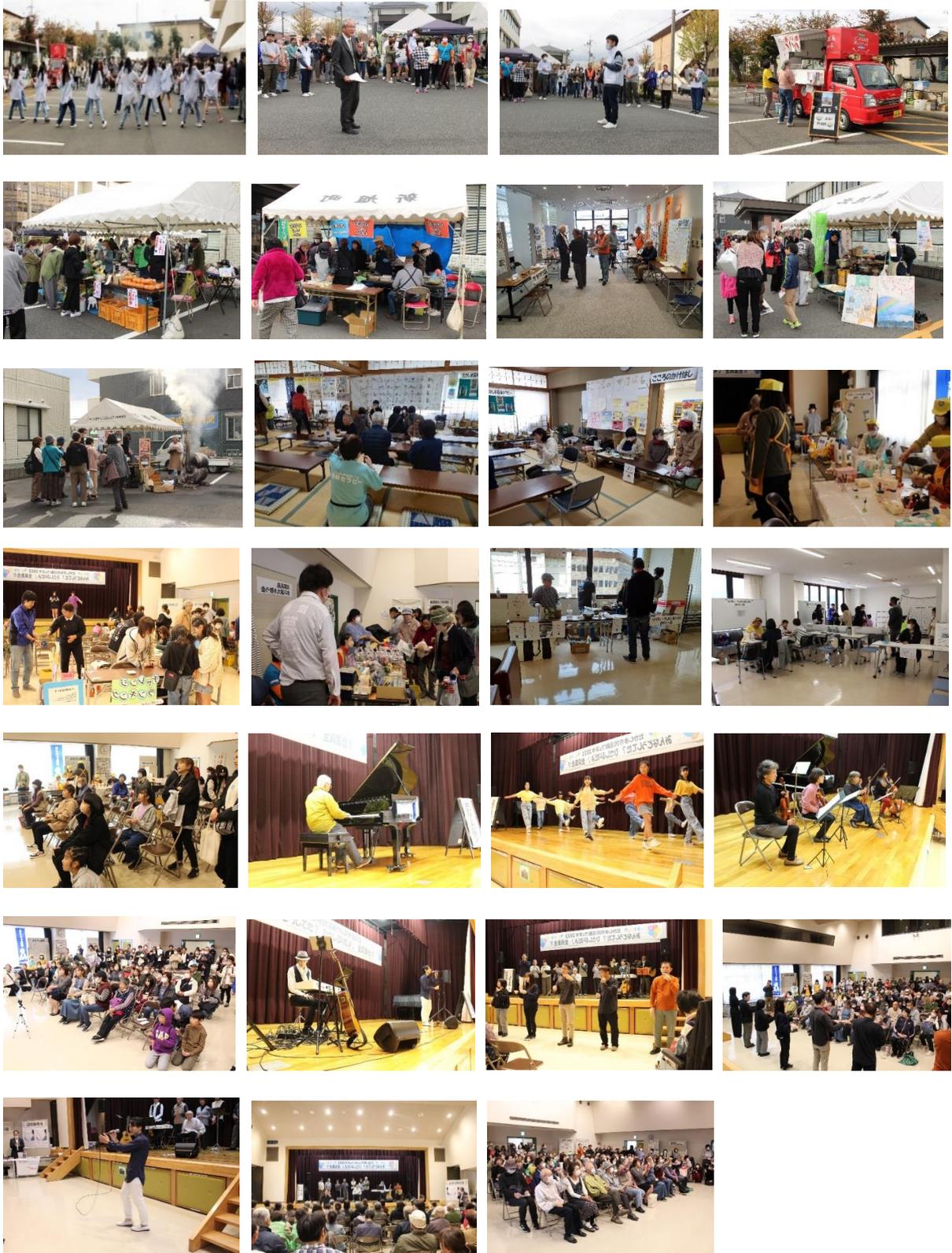
◆実行委員会企画

●出展団体カードの作成（名刺カード）

出展団体の中に団体活動や連絡先をまとめたパンフレットやチラシを作成していない団体が多くみられた。来場者に渡しやすい団体紹介カードで団体のPRをする企画。デザインは各出展団体が考え、交流センターで各団体50枚のカードを印刷し、来場者に配布された。フェスタ後も活用したいと追加で印刷を希望される団体もあった。



◆イベント当日の様子



◆参加団体アンケート

参加団体 39 団体 回答 22 団体

<自由コメント> (一部抜粋)

- ・プレゼントの抽選は大変良いアイデアです！
- ・久しぶりに参加させていただき、他の団体さんや来場された人達と交流が持てて大変良かったです。
- ・企画から準備、開催までお世話になりました。チャリティーには沢山の方にお越しいただきました。収益は猫の飼育費用、治療費に使うことができます。ありがとうございました。
- ・今津東コミュニティセンターにこだわることなく、市内の公共施設で開催するのが良い、市内の一般の事業所・商業施設で開催しても良い。

(2) フェスタ交流会事業

①第1回つながりカフェ

日時：2023年7月3日(月) 19:30~21:30

会場：今津東コミュニティセンター 中会議室

参加：22名(17団体)

目的：・今年度のフェスタのテーマ共有・フェスタ全体に関するアイデア出し・参加団体同士の交流を図る

内容：1. 実行委員会からフェスタへの思い、フェスタのテーマを発表

2. 自己紹介

3. つながりカフェタイム

4. 各グループアイデアの発表

～イベント当日の様子～



②たかしま市民活動フェスタ 2023 参加団体打合せ会

日時：2023年8月22日(火) 19:30~21:30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加：30名(22団体)

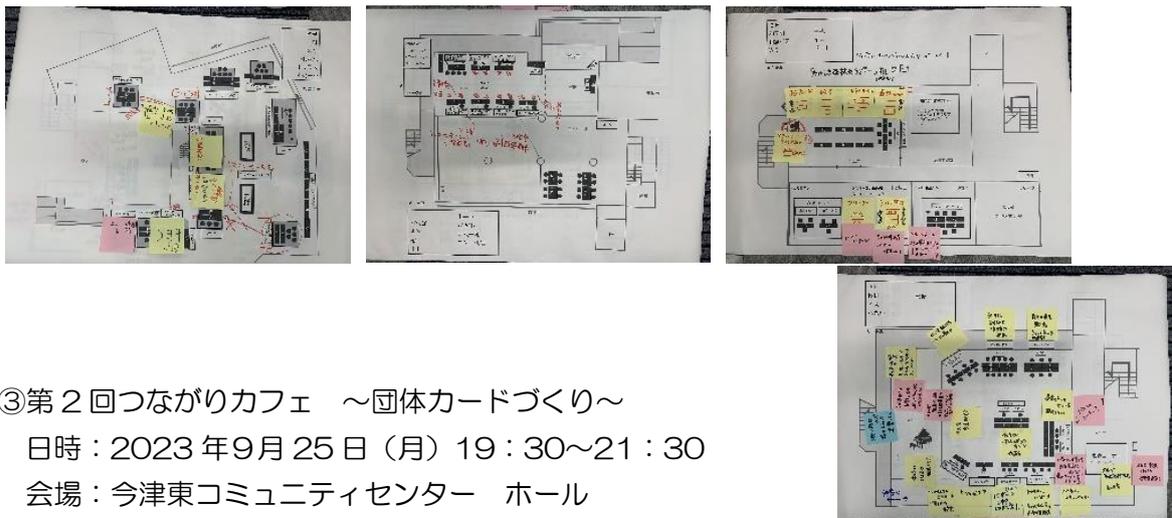
目的：・フェスタへの思いと目指すことを共有・各フロアの当日レイアウトや流れの共有と相談・当日のスケジュールや会場イメージを持つ・各団体同士の交流を図る。

内容：1. 実行委員会から今年のテーマ・フェスタへの思い共有

2. 各フロア別に自己紹介・各階でグループミーティング

3. 各グループの発表・共有

～グループワークの記録～



③第2回つながりカフェ ～団体カードづくり～

日時：2023年9月25日（月）19：30～21：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加：30名（26団体） 参加費：200円（コーヒー・お菓子代）

目的：・フェスタへの思いと目指すことを共有・当日に配布する団体カードづくりと団体同士の交流

内容：1. 実行委員会からフェスタへの思い、目指すことの共有（趣旨説明・概要説明）
2. つながりカフェタイム（団体カードづくり説明）

～イベント当日の様子～



④ふりかえり会

日時：2024年1月5日（土）19:00～21:00

会場：今津東コミュニティセンター 小会議室(1)

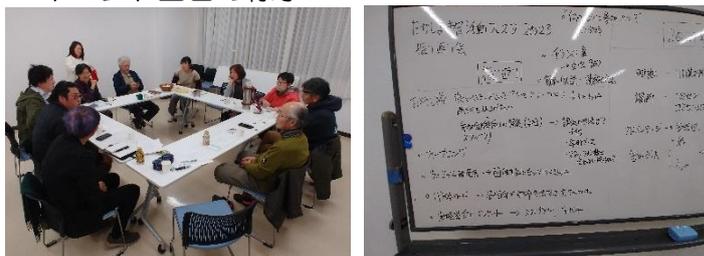
参加費：無料

参加者：9名（8団体）

目的：フェスタの感想を共有・来年のフェスタに向けての意見、アイデア出し

内容：参加団体アンケートの結果を共有し、当日の運営上の反省点と、今後のイベント開催での考慮点等に関して意見交換した。

～イベント当日の様子～



～次年度のアイデア～

- ・コミセン以外で開催を検討してはどうか。
- ・実行委員会やフェスタに向けての活動経過をネットでも発信する。

(3) 活動ネットワーク会議—居場所に関わっている方のための交流会

第1回 居場所に関わっている方のための交流会

7月9日(日)19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 3名(市民活動団体代表者、ボランティア活動者、カフェ経営者)

第2回 居場所に関わっている方のための交流会

10月10日(日)19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 6名(市民活動団体代表者、ボランティア活動者、団体職員、個人)

第3回 居場所についていろいろ語り合う交流会

2月17日(土)14:00~16:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 6名(自治組織代表者、ボランティア活動者、団体職員、個人)

●話題

- ・どんな居場所があるといい
- ・ひとり親家庭について
- ・外国人観光客、外国人住民に関して
- ・認知症の方に関する地域の理解、家族の介護
- ・子ども食堂、フリースクール など



7. 研修等参加記録

<目標>

今年度は市民活動センター意見交換会の世話人として、県内の市民活動支援センタースタッフの充実したスキルアップおよび情報交流を実施する。業務遂行に有効な研修やセミナーには積極的に参加する。

高島市(総合戦略課、社会福祉課等)の会議委員には積極的に対応し、行政の方向性や取り組みの理解と当センターの事業との連携を探る。

高島市共同募金委員会審査会の審査委員として、共同募金への寄付状況および助成申請団体について情報を得る機会とする。

<成果>

市民活動支援センター意見交換会では、年間とおして相談業務に関する情報交換や学習を企画し、スキルアップにつながる研修内容となった。

行政等の委員会への参加により、行政や関連機関とつながる機会になった。

高島市共同募金委員会審査員として、ボランティアグループの活動を知ることができ、情報発信事業や市民活動フェスタへの出展につなげることができた。

市内外の団体、自治体から講師依頼があり、高島市の住民自治協議会や市民活動、当センターの活動を紹介することができた。

(1) 研修参加記録

①市民活動支援センター意見交換会

第1回 世話人会

5月19日 オンライン

- ・今年度のスケジュール、テーマについて

第1回 意見交換会(担当：淡海ネットワークセンター)

6月20日 滋賀県立県民交流センター

テーマ：相談状況について意見交換、支援センターと地縁組織、自治組織、社協等との連携、サポート体制について

第2回 世話人会

8月31日 淡海ネットワークセンター

- ・第1回のアンケート結果、第2回意見交換会について

第2回 意見交換会(担当：たかしま市民協働交流センター)

10月17日 今津東コミュニティセンター

テーマ：非営利組織の比較について、相談集計に関するアンケートから

第3回 世話人会

11月8日 まちづくりスポット大津

- ・第3回内容：相談対応におけるお悩み、課題など

第3回 意見交換会(担当：まちづくりスポット大津)

2月16日 まちづくりスポット大津

テーマ：相談業務について

講師：永井美佳さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会)

②NPO 法人ポータルサイト「ウェブ報告システム」に関する説明会

5月16日 オンライン

主催：内閣府 共生社会づくり推進担当

③厚生労働省社会援護局地域福祉課地域共生社会推進室 視察研修

5月29日 新旭公民館

主催：厚生労働省地域共生社会推進室・高島市健康福祉部

④災害支援市民ネットワークしが

6月30日 総会・第1回研究会 草津市立市民交流プラザ

9月1日 第2回研究会 まちづくりスポット大津

⑤「協働」ってなに？

※高島市市民協働のまちづくり推進指針策定委員会オープン学習会

9月27日 その定義に着目して 今津東コミュニティセンター

1月12日 市民団体の活動の継承と終わりについて

⑥子どもの貧困対策情報交換会

「子どもの孤立と市民性の醸成」

子どもの孤立をふせぐコミュニティの作り方 「遊ぶ」と「あそび」

10月30日 安曇川公民館

(2) 外部委員会等参加記録

①高島市市民協働のまちづくり推進指針策定委員会

オブザーバー参加

第1回 6月23日 市役所

第2回 7月28日 市役所

第3回 8月29日 市役所

第4回 10月6日 市役所

第5回 11月14日 市役所

第6回 1月18日 市役所

第7回 2月14日 市役所

第8回 3月18日 市役所

②サステナブル高島ネットワーク会議

- 第1回 7月10日 市役所
- 第2回 9月29日 市役所
- 第3回 12月20日 市役所
- 第4回 市役所

③高島市地域生活つむぎあい会議

- 第1回 7月27日 市役所
- 第2回 1月25日 市役所

④高島市共同募金委員会審査会

- 第1回 6月15日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
- 第2回 7月18日 安曇川デイサービスセンター
- 第3回 10月13日 安曇川デイサービスセンター
- 第3回 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

⑤高島市制20周年記念事業推進委員会

- 第1回 8月25日 市役所
- 第2回 11月16日 市役所

⑥高島市福祉のまちづくり推進委員会

- 第1回 8月25日 市役所
- 11月10日 第3次地域福祉推進計画の拠点づくりに関するWG会議
- 第2回 12月14日 市役所
- 2月2日 第3次地域福祉推進計画WG会議

⑦令和5年度長浜市市民活動団体支援事業審査会

- 第1回 8月8日
- 令和6年度長浜市市民活動団体支援事業審査会
- 審査会 3月12日、14日

(3) 講師依頼等対応記録

①NPO 基礎講座「地域コミュニティと地域自治組織」

- 「高島市の住民自治協議会紹介」
- 6月28日 主催：まちづくりスポット大津

②岩上自治振興会 高島市視察対応

- 岩上自治振興会、甲賀市市民活動推進課 6名
- 9月21日 今津東コミュニティセンター

③河合町総代・自治会長会 冬期研修

河合町総代・自治会長会、河合町職員 13名

「高島市住民自治協議会紹介～設立までの道のり、そして6地域6色の活動～」

12月4日 今津東コミュニティセンター

Ⅲ. 生活支援コーディネーター（第1層／市域）

<目標>

高齢になっても暮らし続けることができるまちづくりをめざす、生活支援体制整備事業の今年度目標は、高齢者の社会参加を増やすこと。社会参加に必要な移動問題に焦点を当て、現状把握のために移動困難予備軍となる世代が多く参加するサークル活動や団体を訪ね移動に関するヒアリングを行います。

団体の継続を支援するために必要なサポートを提供します。社会参加を促進するツールとして、区・自治会などが開催するスマホ教室の支援をします。世代間の交流を促進するために地域の高校生や大学生に声をかけ、世代間交流の機会となるスマホ教室をめざします。

<成果>

移動困難予備軍となる世代を中心に行ったヒアリングを通じて、移動に関する将来起こり得る問題やニーズを把握しました。

多様な分野から生活支援体制整備に関わる委員が集まる協議体会議ではヒアリング結果の報告とともに、「多様な移動手段」について考えてもらいました。そのアイデアを元に「高齢者の移動に関する勉強会」を開催することができました。勉強会には50名の市民が参加し、市内の移動の現状を知る機会となりました。また、移動に関する問題意識の高さも確認できました。

シニア世代へのスマホ講座や相談会の開催については、区・自治会、施設などから依頼があり、ニーズの高さを感じました。安曇川高校、高島高校、地元の大学生と一緒にすることも実現できました。高校生なども部活動、授業の一環、ボランティア活動などで地域と関わる事を望んでいる事がわかりました。

(1) 生活支援コーディネーター定例会・生活支援体制整備協議体会議

第1層および第2層の生活支援コーディネーターと地域包括支援課で毎月定例会を持ち、年間のテーマについて、高島市の生活支援体制整備協議体の運営について検討した。

<第1層・第2層定例会>

第1回定例会 4月20日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層の活動報告 年間計画について

第2回定例会 5月15日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会

6/15 ケアマネ協との合同研修会について

第3回定例会 6月19日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会

6/15 ケアマネ協との合同研修会の振り返り

第4回定例会 8月3日 13:30～16:30 今津東コミセン

環境政策課 堺さん チーム大津京 保井さん

第5回定例会 8月10日 16:30～17:30 今津東コミセン

第1回協議体会議について「高齢者の移動手段について考える」

第6回定例会 9月6日 15:00～17:00 今津東コミセン

滋賀まちかどケアネット 谷さん 貫井さん 県内の状況、高島の現状について

第1回協議体会議の振り返り

- 第7回定例会 10月16日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
 情報提供 (株)アイシン チョイソコ 大屋様
- 第8回定例会 11月15日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
 地域での移動外出手段の現状とニーズに合った取り組みを考える
 11/10 大阪で開催された研修会の共有
- 第9回定例会 12月7日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
 移動に関する勉強会について
- 第10回定例会 1月24日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会
 1/15.移動に関する勉強会振り返り
- 第11回定例会 2月5日 15:00～17:00 高島市社会福祉協議会
 第2回協議体会議について
- 第12回定例会 3月6日 16:30～17:30 高島市社会福祉協議会
 今年度ふりかえり、次年度に向けて

<第1層生活支援体制整備協議体会議>

- 第1回協議体会議 8月29日 13:30～15:00 新旭公民館
 多様な移動で、充実した暮らしと積極的な社会参加を支える
 拠点(居場所)に行くための移動手段を考える
- 第2回協議体会議 2月8日 13:30～15:00 安曇川公民館
 公共交通を活用した高齢者の移動シミュレーションと課題の発見

<第2層協議体会議>

- 第1回 マキノセーフティネット連絡会
 9月30日 13:30～15:00 マキノ土に学び里
 集いツールの紹介
- 第2回 マキノセーフティネット連絡会
 2月21日 19:00～20:30 マキノ土に学び里
 マキノ防災について語り合う
- 第1回 今津セーフティネット連絡会
 8月8日 19:00～21:00 今津東コミュニティセンター
 超高齢者化社会体験ゲーム・コミュニティコーピング
- 第2回 今津セーフティネット連絡会
 3月8日 19:00～21:00 今津地区VC 拠点
 より処の再オープン～新拠点にこんな機能があったらいいな

<移動に関する勉強会>

- 高齢者の移動手段を考える勉強会(オンライン併用)
 1月15日 13:30～16:00 今津東コミセン 参加45名

①市都市政策課

- ・バスの現状と利用について

②NPO 法人全国移動サービスネットワーク監事

関口幸一さん

- ・市民の移動支援に関する国交省の方向性

③(株)アイシン 大屋輝倫氏

- ・ちよいとそこまでごいっしょにチョイソコの仕組み、導入事例紹介

④質疑応答



(2) 研修参加

- ： 4月26日 13:30～17:30 高島市社会福祉協議会
「未来のジャム」と「滋賀高島まちの人事企画室」合同ワークショップ
- 6月15日 13:30～15:30 今津東コミセン
湖西介護支援専門員連絡協議会と生活支援コーディネーターの研修
- 7月9日 13:30～15:30 安曇川公民館
暮らす一人一人がまちづくりの主役 東近江市のまちづくり協議会から学ぼう
- 7月16日 13:30～15:30 旧大津公会堂
コーピング超高齢化社会体験ゲーム
- 7月19日 13:30～15:30 市役所
自立支援サポート会議
- 7月21日 13:30～15:30 滋賀県庁
わが町の地域包括ケアを考える研修会
- 9月21日 19:00～21:00 今津東コミセン
ホワイトボードミーティング講座
- 9月27日 19:00～21:00 今津東コミセン
協働ってなに～その定義に着目して～
- 10月7日 13:30～15:30 安曇川公民館
チャット GPT などの人工知能が社会に及ぼす影響と活用方法について
- 10月31日 13:30～15:30 今津中学
大人としゃべり場トークフォークダンス
- 11月10日 13:30～15:30 大阪市総合生涯学習センター
地域社会での移動外出手段の現状とニーズに合った取り組みを考える
- 11月29日 10:00～12:00 高島支所
湖南市高島市生活支援コーディネーター交流会
- 12月1日 13:30～15:30 安曇川公民館
認知症とともに生きる 在宅医療講演会
- 3月2日 13:30～15:30 安曇川公民館
みんなのふくしフォーラム

3月15日 13:30～15:00 市役所

一般介護予防評価会議

(3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行

高齢になっても社会参加の機会が維持されることを目的にボランティアグループ、元気高齢者のイキイキ活動、男性の参加が多い活動、仲間で作る多様な居場所などを掲載した。毎週体操するマキノの「スマイル」、シニア男性で子どもたちを対象に自然遊びを提供する団体「野遊び塾」を新しく掲載できた。また新規出張理美容の事業者「髪人湖西店」も掲載できた。

発行部数 2,000部

配布先 市地域包括支援課から関係機関へ

掲載事業者、掲載の居場所グループやサークル、民生員児童委員、区長・自治会長、福祉推進委員など必要とされる市民



(4) シニアのためのスマホ講座・相談会

高齢者がスマートフォンを適正に使うことで、社会参加の維持、家族の安心、生活支援につながる可能性がある。地域でスマホ講座や相談会をきっかけに、住民同士のコミュニケーション促進もめざした。また今年度は地元の高校生、大学生にも働きかけ世代間交流を図りました。

日程	団体名	参加人数	内容
5月18日	結の会	5	70歳/LINEグループの使い方など
7月9日	今津栄区	11	70～80代 高島高校 JRC部と一緒にできました
7月13日	安曇川高校	1	生徒と一緒にできるかの学校と打ち合わせ
7月2日	新旭安養寺区	1	福祉推進委員と打ち合わせ
7月29日	新旭安養寺区	13	70～80代 安養寺区の大学生と一緒にできました
8月22日	今津西区老人会	12	70～80代/QRコードの使い方など
9月19日	安曇川高校	5	地域連携の生徒とスマホ教室の打ち合わせ
10月27日	マキノ下開田自治会	10	70～80代/LINEの使い方
11月19日	北仰東自治会	18	70～80代 安曇川高校の地域連携の生徒さんと一緒にできました
11月25日	湖西 障害者生活支援センターほろん	23	60～80代スマホ基本操作、LINEの使い方など

(5) 団体等訪問

ボランティアグループやサークル、高齢の方が集まっておられる場を訪ね、お役立ち情報の紹介、スマホ講座の案内などお話ししながら運営状況や課題などの聞き取りをした。

月日	団体名	参加人数	内容
4月11日	藤美寮	1	行こカー事業について
5月10日	北船木	5	春のマルシェ取材について
5月31日	歌声はまかぜ	60	活動状況聞き取り
6月5日	新旭安養寺区地藏さんカフェ	1	活動状況聞き取り 移動についてのヒアリング
6月9日	たすけあい高島	4	活動状況聞き取り
6月13日	シニアヨガ	10	活動状況聞き取り 移動についてのヒアリング
6月28日	ほほえみ工房	2	活動状況聞き取り 移動についてのヒアリング
7月13日	安曇川高校	2	スマホ教室について
7月14日	安曇川男の料理教室		活動状況聞き取り
7月26日	プチトマト創作隊	8	活動状況聞き取り 移動についてのヒアリング
10月18日	Wacca	1	活動状況聞き取り
10月29日	今津文化祭	1	カラオケサークルの取材
10月30日	スマイル	10	活動状況聞き取り
12月1日	男性健康推進委員料理教室	18	活動状況聞き取り
1月13日	なごみの音楽会	15	活動状況聞き取り
2月8日	コープ滋賀組合員活動交流会	30	活動状況聞き取り
3月2日	ヴォーリズファンクラブ	6	活動状況聞き取り

(6) 相談対応

月日	団体名	対応人数	内容
2月20日	個人	1	住民同士の移動の相談
3月15日	髪人湖西店	1	介護者の集いの場を作りたい

IV. 関係人口創出・拡大推進事業

<目標>

人口減少と高齢化が進む高島市では、都市部に暮らしながら、高島市に関心を寄せ、地域に関わりを持ちたいと高島市に足を運ぶ関係人口を「高島縁人(たかしまえんじん)」と呼び、高島縁人を増やす事業を進めている。

本年度は高島縁人を受け入れる団体サポーター(市民活動団体や地縁組織)を増やすために、参加型の市民団体や地域のイベントについても積極的に高島縁人に向けて発信し、市民や地域に出会う機会を作っていく。

バーチャル高島を使った交流イベントでは、多様な市民団体に参加を依頼していく。

<成果>

分野を越えて、多くの団体を訪問し、関係人口について説明ができ高島縁人への理解を拡げることができた。

市内外の参加者を求める地域おこしイベント、市民団体が主催するマルシェなどが集中する秋のイベント情報をまとめて発信することができた。いくつかのイベントは開催時に訪問し、高島縁人からの情報からの参加者に出会うこともできた。

バーチャル高島を活用したイベントでは、地域資源の活用、福祉分野、環境保全など多様な団体に活動紹介の機会を作ることができた。

(1) 高島縁人コーディネート会議

運営メンバー：田中可奈子さん(wacca)、藤原照也さん、穂波さん(株ENON)、藤田時彦さん(atelia umi)、(有)とーく 堤さん・浅野さん、総合戦略課、NPO法人コミュニティねっとわーく高島

	日時	場所	内容
1	4月20日	wacca	今年度目標、年間計画など
2	5月8日	wacca、Zoom	団体サポーター訪問状況、情報発信について、バーチャル高島イベントについて
3	6月14日	wacca	団体サポーター訪問状況、情報発信内容、バーチャル高島イベントのプログラム
4	7月13日	wacca	バーチャル高島交流イベントについて
5	8月9日	wacca	バーチャル高島イベントふりかえり、情報発信について
6	9月6日	今津東コミュニティセンター	情報発信について、団体サポーターイベント情報、市民ライター講座について
7	10月11日	wacca	団体サポーター情報の発信について、バーチャル高島のデザイン変更
8	11月8日	wacca	市民ライター講座ふりかえり、団体サポーター情報、バーチャル高島の活用について
9	12月19日	市役所	バーチャル高島交流イベントふりかえり、バーチャル高島の活用について
10	1月17日	市役所	団体サポーター訪問状況、バーチャル高島イベントと活用拡大について
11	2月5日	市役所	団体サポーター情報、バーチャル高島イベント、次年度事業について

12	3月5日	市役所	年間のふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・団体サポーターの役割りと課題 ・バーチャル高島の活用 ・効果的な情報発信
----	------	-----	---

次年度に向けて、運営メンバーで関係人口創出・拡大事業のめざすところを確認。地域や市民活動団体の中には、市外から応援の人を受け入れ、地域や団体の力としている状況も見られる。高島縁人への登録だけでなく、すでに関係人口を受け入れている団体等を拾い上げ、市民への関係人口の理解を進めることも重要だと確認した。



(2) 団体サポーター（高島縁人受入れ団体、地域）の発掘

関係人口創出事業と高島縁人について説明できた団体は、昨年度末 13 団体だったが 32 団体に増加。

高島縁人パンフレットの設置団体は 20 団体。

	団体名
1	ヴォーリス今津郵便局の会
2	マキノ自然観察倶楽部
3	結の里・椋川
4	南深清水 FF 倶楽部
5	まるくもくらぶ
6	水口ファーム
7	中村水産
8	認定 NPO 法人 TSC TSC フリースクール
9	上開田営農組合
10	小荒路区
11	有限会社橋本燃料
12	株式会社よこいファーム
13	企業組合ビュースパイア
14	新旭水鳥観察センター（指定管理者：NPO 法人高島野鳥の会）
15	丸八百貨店（指定管理者：株式会社 ENON）
16	ヴォーリス資料館（指定管理者：一般社団法人あすラボ）
17	森林公園くつきの森（指定管理者：NPO 法人麻生里山センター）
18	高島市針畑郷山村都市交流館 源流の駅「山帰来」 （指定管理者：針畑地域活性化組合）
19	タネカラプロジェクト
20	エーゼロ株式会社滋賀支社
21	NPO 法人絵本による街づくりの会
22	SUZAKI CAFÉ
23	NPO 法人子育て・子育てサポートきらきらクラブ

24	たかしま市民活動フェスタ実行委員会
25	淡海湖西生涯学習センター (運営者：公益財団法人モラロジー道德教育財団)
26	新旭学童やまびこ (運営者：NPO 法人クマノヤマネット)
27	ヴォーリズ JAZZ NIGHT 実行委員会
28	パブリカ
29	ほほえみ工房
30	FEC 自給圏ネットワーク
31	畑を楽しむ会
32	野遊び塾
33	一般社団法人ココヒト

(3) 団体サポーター情報発信

活動への想い、活動内容やイベントを取材し、高島縁人 note で記事掲載、公式ラインで情報発信を行った。

高島縁人 note 26 記事掲載

URL : <https://note.com/takashimaengine/>



バーチャル高島での活動紹介

①バーチャル高島 Blue Green Engin 月1回 20:00~20:30 全9回
話題提供の団体サポーターと事前打合せを行い、当日のサポートを行った。

②バーチャル高島交流イベント 夏、冬 各2日間開催
話題提供や会場のブースで参加者交流に対応する団体サポーターの調整を行い、当日サポートを行った。

(4) 市民ライター講座

高島縁人を理解し、市外の関係人口に向けて取材し記事を書く市民サポーターを増やす目的で、開催した。

日時 10月17日(火) 9:30~11:30

会場 wacca

参加者 5名

V. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

<目標>

高島市の水源を守る豊かな森に市民が関心を向け、市民が森に関わる機会を提供することを目的に、森に関する学びの機会、森を訪れる機会、森での生業を知る機会を作るために2015年から活動を続けている。

今年度は、地域の特産品づくりと高齢者の活動機会として長年活動を続けて来られた国境炭焼きオヤジの会が2022年12月末で解散することのことで、活動の歴史を学び、炭窯見学を企画する。

昨年度から相談に対応しているカワウの営巣地となり周囲の糞害が課題の綾羽工業の河辺林については、河辺林の保全と活用をされている事例の見学と河辺林整備の方法などを学ぶ機会を作る。

<成果>

炭焼き交流会は、国境炭焼きオヤジの会が活動するマキノ町国境の願力寺で開催することができた。同会の応援者や昨年度の講座参加者も多く参加され、活動終了は残念だという声も聞かれた。

河辺林の活用と保全については、東近江市の河辺生きものの森を訪ね、東近江市の担当者から整備の経緯を聞き、ガイドの案内で整備された林を散策した。参加者一同で、このような森をめざしたいと話すことができた。また、秋には河辺生きものの森の活動を立ち上げて来られた方に綾羽工業の河辺林を見ていただき、市民による整備と活用について意見をいただくことができた。次年度の植生や生き物の基礎調査活動へのアドバイスをいただいた。

1. 炭焼き交流会

国境炭焼きオヤジの会の活動経過と国境の暮らしと歴史、炭窯づくり、炭窯見学を行った。市内外の炭焼きに関心を持つ市民との交流の機会とした。

日時 4月15日(土)10:00~15:00

場所 願力寺(マキノ町野口)

参加 11名

内容 北谷三郎さん(元国境炭焼きオヤジの会 代表)のお話し

・活動の歴史と炭窯づくり、質疑応答

新田龍誠さん(願力寺)のお話し

・絵屏風で昔の暮らし

炭窯見学

全体交流

参加者の声

- ・炭窯を作りたい時や炭焼きを教えてほしい時には相談できると聞き、技術をつなぐことが大事だと感じた。
- ・この山間地の昔の暮らしについてお話しが聞けてよかった。
- ・炭窯が閉鎖されるのはもったいない気がする。 など





2. 綾羽工業の河辺林について

新旭町太田にある綾羽工業株式会社の敷地内の河辺林(約 7ha)は、人の手が入っていないため多くの生きものが生息しているが、近年カワウの営巣地となり近隣では臭気や糞害が発生している。

2022 年から綾羽工業(株)とともに、この森を市民に開かれた森として、市民と企業がともに森を整備し、活用していく方法について検討を始めた。

(1) 河辺いきものの森見学会

東近江市の愛知川沿いの河辺林にある河辺いきものの森(約 15ha)は、25 年前から消失しつつある河辺林の保全をめざした市役所職員と市民が整備活動を続け、現在は市民団体が環境学習や体験の森として活用と保全活動を行っている。

綾羽工業の河辺林の整備と将来像を考える機会として見学会を企画した。

日時 7月21日(金)14:00~16:30

場所 河辺いきものの森(東近江市)

参加 11名

(綾羽(株)2名、綾羽工業(株)1名、森林公園くつきの森2名、LLP 木民2名、滋賀県立大学地域共生センター1名、NPO 法人コミュニティねっとわーく高島3名)

内容 東近江市森と水政策課 丸橋裕一さん

・河辺林の歴史と暮らしとの関係、整備の歴史と植生などの変化、植生管理の方針と目標、ボランティア活動の大事な点 など

森の見学 ガイド：事務局長 熊木 香さん



(2) 綾羽工業の森を歩き、市民の森づくりを学ぶ

綾羽工業の河辺林を見学し、河辺いきものの森の活動立ち上げに関わってこられた元東近江市職員の方から立ち上げと活動の経緯を学び、市民の森づくりについて学ぶ機会としました。

日時 10月28日(土)13:30~16:00

場所 綾羽工業株式会社高島工場(高島市新旭町)

参加 11名

(綾羽(株)1名、綾羽工業(株)2名、LLP 木民 1名、市民3名、NPO法人コミュニティねっとわーく高島4名)

内容 河辺林の見学 案内：綾羽工業(株)
武藤精蔵さんのお話し

- ・河辺林の植生調査とゾーニング
- ・市民の整備活動継続のポイント
- ・植物や生き物の変化、暮らしと歴史
- ・質疑応答

アドバイス

- ・ボランティア活動は楽しく！学ぶ楽しみとコミュニケーションの楽しみ
- ・活動を伝える→マスコミへの発信、口コミを拡げる
- ・資金集め→助成金、地元の企業や金融機関などの協力

感想 竹、椿、お茶の木、イチョウ(銀杏)など資源を活用し、楽しみながら長期的な活動のヒントをもらった。など



(3) 市民大学 たかしまアカデミーで活動紹介

市教育委員会主催で2022年度から開校されている市民大学では、2年目のグループ活動が始まる。活動フィールドの一つとして、綾羽工業の河辺林の現状と今後の活動について説明の依頼があった。

①市民大学講座：ネイチャーグループへ紹介

日時 1月17日(水)19:00～21:00

場所 今津東コミュニティセンター

内容 綾羽工業の河辺林に関わる経緯と今後の計画について
ネイチャーグループで詳細について紹介

②市民大学の公開講座 講師：渋沢寿一さんを河辺林に案内

日時 2月13日(火)10:00～11:45

場所 綾羽工業株式会社高島工場

参加 10名

(渋沢寿一さん：NPO 法人共存の森ネットワーク理事長、滋賀県立大学地域共生センター2名、市民大学ネイチャーグループ3名、市民1名、社会教育課2名、NPO法人コミュニティネットワーク高島1名)

3. 情報発信

市民が森へ足を運ぶ機会や森に関わる機会となる他団体の情報をホームページ等で発信した。

6月9日、20日 広葉樹の森をつくろう！育樹作業ボランティア募集
(NPO 法人結びめ)

6月 くつきの森・炭窯づくり 新しい炭窯づくり

8月31日 くつきの森・炭窯づくり「杉の皮むき体験」(くつきの森)

9月10日 秋の針畑を楽しむぞ！栃の実編

(高島市針畑郷山村都市交流館 源流の郷 山帰来)

10月15日 第12回栃の木祭(巨木と水源の郷をまもる会)

11月19日 おっきん椋川(結いの里・椋川)

4. 運営会議

第1回 2月1日 参加3名

- ・森林水産課担当者に当プロジェクトについて説明
- ・市の課題と当プロジェクトのめざすことについて意見交換

Ⅵ. コミュニティ事業

1. 郷土料理教室

<目標>

郷土料理「鮒ずし」漬け体験をとおり、湖魚を食べる習慣や琵琶湖や漁業の現状について知る機会を作る。鮒ずし好きのコミュニティ、人の出会いとつながる機会を作る。

<成果>

滋賀県水産課の指導で鮒ずしの漬け方、琵琶湖や漁業の現状などについて学んでいただくことができ、参加者間の交流が生まれた。また鮒ずし味見会によって、鮒ずし好きな仲間を拡げることができた。

(1) 鮒ずし漬け体験会

開催日 ①7月30日(日)、②8月6日(日) 9:30~15:00

場 所 今津東コミュニティセンター

参加者 ①10名(3グループ)、②9名(3グループ) 計19名(6グループ)

講 師 ①三枝 仁さん(滋賀県水産課)、②谷口皆人さん(滋賀県水産課)

内 容 参加者自己紹介、漬け方説明、塩切鮒洗い

琵琶湖についてのお話し(琵琶湖の現状と湖魚料理、湖と農業と魚の関係など)
ご飯と鮒の漬け込み



②8月6日は、参加者の発案で広島原爆に関する絵本読み聞かせもされた。

(2) 鮒ずし味見会

開催日 2月17日(土)17:00~18:30

場 所 今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 18名

内 容 各チームや自宅で漬けた鮒ずしを持ち寄り、味見して感想を共有した。

※終了後、「お魚とお酒 うはる」（今津町）にて親睦会を開催した。



2. みんなのほんだな

<目標>

本をとおした人の交流を目的に、平成 29 年から今津東コミュニティセンターに設置。施設運営者と適宜本の整理をしながら運営。年に 1 回の本の整理作業を本好きな市民の交流の機会として開催する。

<成果>

年間とおして本の入れ替わりがあり、本を読む人の姿も見られた。
本の整理作業は、本好きな市民と汚れた本や古い本を整理することができた。

※「みんなのほんだな」とは

誰かに読んでほしい本や読み終わった本を持って来ることができ、また気になる本や読みたい本を持って帰ることができる本棚。シンプルな本の交換の仕組み。

ルール：本の交換は 1 日 3 冊まで。

交換できない本は、マンガ、雑誌、情報誌、辞典、宗教・政治・法律関係の本、情報の古い専門書、汚損のひどいもの

(1) 本の整理作業

2月23日(金・祝) 14:00~15:30

参加者 2名

内 容 古い本、汚れている本を箱に詰める、本の茶話会

(2) 本の寄付

認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会

ステナイ生活へ寄付 5箱

3. 映画「夢みる小学校」高島市上映会

<目標>

主体的な子どもの学び、体験からの学びをテーマに制作されたドキュメンタリー映画「夢みる小学校」の上映を、市民による実行委員会で開催することをめざし、2022年に実行委員会の立ち上げを支援した。2023年6月の開催に向けて市民主体の上映会実施をめざす。

<成果>

実行委員会の事務局的な立場で参加し、関心を持って集まったメンバーがさらに関心ある市民を呼び込み実行委員会が立ち上がり、上映日程、トークタイムなどのプログラム、広報、当日の役割りなどの役割り分担を行い、上映会を無事に開催することができた。総計大人 155 名、子ども 35 名が本映画を鑑賞された。

上映会終了後、ふりかえりと今後の活動について話し合い、子どもも大人も主体的な学びに関する情報交換や市内外の事例を学び合う場を継続することとなった。当法人は事務局的な役割りとして継続的に支援した。

(1) 実行委員会

4月13日 6名

- ・上映会日程、上映会スケジュール、会場、機材の検討

5月11日 5名

- ・広報準備、予算と協賛金集めについて、役割り分担

6月5日 8名

- ・当日役割り分担、経費の確認など

7月

- ・協賛者 25 名へお礼状届

8月10日 8名

- ・上映会ふりかえり、今後の活動

「こどももおとなも好きから始まる Freedom」をテーマに活動継続

10月19日 8名

- ・フリースクールに関する情報共有、今後の活動

12月10日 14名

- ・哲学対話と自由に話せる場づくりについて、梶谷真司さんとお話し会

12月14日 7名

- ・話題提供者：TSC フリースクール 北村 航さん

2月26日 8名

- ・話題提供：新旭北小学校 校長 尾中先生、保護者の方

(2) 上映会 (参加費大人 1,000 円)

①②参加者総計 大人 155 名、子ども (高校生以下) 35 名

①湖西生涯学習センター (旧広瀬小学校)

6月16日(金) 13:30~15:30、19:00~21:00

6月17日(土) 13:30~15:30+参加者交流会~17:00

参加者 大人 46 名、子ども(高校生以下)12 名

②今津東コミュニティセンター 3階ホール

6月24日(土) 13:30~15:30+トークタイム~17:00

6月25日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30

※6月24日のトークタイムは、話題提供 3 名のお話しを聞いた後、会場全体で意見交換を行った。

話題提供者：綿谷駒太郎さん（きのくに子どもの村学園元教員）
木村 楽さん（きのくに子どもの村学園かつやま子どもの村小中学校
卒業生）
尾中一彦さん（高島市立新旭北小学校 校長）

参加者 大人 109名、子ども(高校生以下)23名



(3) 多様な学びの機会を考える～高校編

3月30日 13名

今津東コミュニティセンター

内容・学校法人ワオ未来学園 ワオ高等学校（通信制高校）木村 楽さん

- ・島根県立隠岐島前高等学校 是永悠里さん
- ・意見交換

Ⅶ. コーディネート事業

<目標>

前年度末に打診があったコーディネートに関する依頼に、当法人のネットワークを活用し対応する。

(1) 龍谷大学 1回生社会学入門演習 研修プログラム

龍谷大学社会学部社会学科 教授 脇田健一さんより依頼があり、1回生の社会学入門演習の研修プログラムのコーディネートを行う。

山間集落における移住者の暮らしや地域における役割、地元の方々との関係性などについて、現地を訪ね、お話を聞き学生の疑問等に応えてもらうことで社会学を学ぶために必要な経験を得る。

(2) 滋賀県「子ども・若者まんなか活動助成事業」支援

認定 NPO 法人しが NPO センターより依頼があり、滋賀県子ども・青少年局 子ども未来戦略室が実施する「協働で進める子ども・若者まんなか活動助成事業 支援業務」の助成採択団体の活動等を支援する。

<成果>

龍谷大学の社会学入門演習の研修プログラムのコーディネートでは、今津町椋川の「結の里・椋川」と朽木針畑の「上針畑防災福祉組」および針畑地域の資源を活かした暮らしをされる移住者を訪問するプログラムを実施することができた。学生はこちらから提供した情報とネットで事前に調べ、また現地で聞いた内容から質問を積極的にして学びの機会となっていた。受け入れ地域の方々も、事前相談や打合せや学生への質問等に丁寧に対応いただいた上、若い方の学びの機会に協力できたことを喜んでいただけた。

子ども・若者まんなか活動助成の団体活動支援では、NPO 法人 BIWAKO SPORTS CLUB (BSC) の支援を行うことができた。活動状況のヒアリングや現地訪問、相談対応をとおして、関係性を深めることができた。BSC は競技スポーツ指導だけでなく、野外活動や自然体験などの多様な子どものニーズに応えるプログラムを地域の市民団体や大学とともに実施しており、多様な組織との連携事例として参考になった。

1. 龍谷大学 1回生社会学入門演習 研修プログラム

(1) スケジュール

4月6日 社会学入門演習について相談

4月19日 脇田さんと打合せ(オンライン)

・研修目的、日程、費用について

4-5月 受け入れ先の訪問と打合せ

・結いの里・椋川、上針畑防災福祉組、タネカラプロジェクト(生杉)、古民家民宿 COCCO 小入谷(小入谷)、針畑活性化組合

バス手配、プログラムと費用の確定

6月10日、6月17日 各1クラス20名 現地研修アテンド

6月 大学への写真提出、受け入れ地域団体へお礼状送付

(2) 研修プログラム

6月10日(土)

時間	場所	内容
9:30	今津東コミュニティセンター	荷物の積み込み(プロジェクター、スクリーン、PC、延長コード)
9:52	近江今津駅着	1年生19名+脇田先生+交流センター
10:30	おっきん椋川交流館 (今津町椋川) 集落内見学	①結いの里・椋川 事務局 是永 宙さん(移住者・市議) ・椋川区の歴史、暮らし、産業 ・現在の椋川区 ・おっきん椋川の取り組みと地元の方々の変化 ・これからの椋川(質疑応答)
12:20	丸八百貨店	昼食(飲み物付き) 駐車: 朽木支所
13:45 14:30	「針畑の駅 山帰来」横の 針畑ルネッサンスセンター (プロジェクター等準備) 生杉集落内見学 上針畑防災福祉組 タネカラプロジェクト	14:00~14:30 生杉集落内見学 集落の様子、タネカラプロジェクト ②上針畑防災福祉組 会長 藤村治文さん(移住者・民宿) ・上針畑の地域性、暮らしと現状 ・上針畑防災福祉組の経緯、活動の変化、現状と課題 ・移住者の役割 ・上針畑地域のこれから (質疑応答)
15:30		③タネカラプロジェクト 清水美里さん(市内から生杉へ移住) ・なぜ生杉へ? ・お仕事や暮らし、地域との関わり ・タネカラプロジェクトの想い (質疑応答)
16:50	出発	
17:50	安曇川駅発	(京都着 18:47)

6月17日(土)

時間	場所	内容
9:30	今津東コミュニティセンター	荷物の積み込み(プロジェクター、スクリーン、PC、延長コード)
9:52	近江今津駅着	1年生20名+脇田先生+交流センター
10:30	おっきん椋川交流館 (今津町椋川) 集落内見学	①結いの里・椋川 事務局 是永 宙さん ・椋川区の歴史、暮らし、産業 ・現在の椋川区 ・おっきん椋川の取り組みと地元の方々の変化 ・これからの椋川 (質疑応答)
12:20	丸八百貨店	昼食(飲み物付き) 駐車: 朽木支所
13:45 14:30	「針畑の駅 山帰来」横の 針畑ルネッサンスセンター	14:00~14:30 小入谷集落内見学 ②上針畑防災福祉組

15:30	お宿古民家 COCCO 小入谷へ 移動(徒歩 10分)	会長 藤村治文さん <ul style="list-style-type: none"> ・上針畑の地域性、暮らしと現状 ・上針畑防災福祉組の経緯、活動の変化、現状と課題 ・移住者の役割 ・上針畑地域のこれから (質疑応答) ③古民家 COCCO 小入谷(民宿) 廣清乙葉さん(市外から移住) <ul style="list-style-type: none"> ・小入谷を選んだ理由 ・事業紹介と地域との関わり ・この地域のこれから (質疑応答)
16:50	出発	(質疑応答)
17:50	安曇川駅発	(京都着 18:47)

研修先

結いの里・椋川 <https://yuiinosato.mukugawa.net/>

タネカラプロジェクト <https://tanekarap.jimdosite.com/>

くつき源流のお宿 古民家 COCCO 小入谷 <https://cocco-onyuudani.com/>

針畑ルネッサンスセンター <https://sankirai-in-harihata.jimdofree.com/>

上針畑防災福祉組：立地、人口、以前の取材記事を提供



2. 滋賀県「協働で進める子ども・若者まんなか活動助成事業」支援

(1) スケジュール

- 6月23日 支援団体について相談
- 7月10日 助成募集説明会・相談会
- 10月 採択団体決定、サポート団体通知
- 10月20日 サポート団体ヒアリング（NPO 法人 BIWAKO SPORTS CLUB）
- 10月25日 支援団体会議（アクティ近江八幡）
- 11月23日 サポート団体活動取材（一般社団法人比良里山クラブまほろばの里）
- 12月18日 支援団体会議（オンライン）
- 1月20日 団体交流会（滋賀県立県民交流センター）
- 10月～3月 サポート団体からの相談に対応
- 3月23日 成果報告会（滋賀県立県民交流センター） -

